

HIROSHIMA UNIVERSITY BHS NEWS

Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences

目次	
Greetings ご挨拶	2
Activities 活動	4
My Motto 座右の銘	5
Research Frontline 研究最前線	6
Prize Winner 各賞受賞者紹介	8
Prize Winner 各賞受賞者リスト	9
Air Mail 広大から海外へ留学している若手の日記	11
Meeting Report 院生の国際学会参加報告	12
News Digest 最近の新聞記事から	20
Meeting Record 学会等開催記録	24
人事異動	32
Congratulations 大学院修了者一覧	33
平成26年度文部科学省科学研究費補助金等採択一覧	35
平成26年度厚生労働省科学研究費補助金採択一覧	44
平成26年度受託研究受入・民間等との共同研究実績状況	46
平成26年度奨学寄附金受入状況	46
寄贈図書一覧	46
編集後記	47



目次

目次		
Greetings	ご挨拶	安井 弥 .. 2
	「スーパーグローバル大学として国際化を加速するために」	
Greetings	ご挨拶	紙谷 浩之 .. 3
	「核酸を用いて「発がん機構の解明」と「病気の治療」を目指します」	
Activities	活動	山脇 成人 .. 4
	「革新的イノベーション創出プログラム「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」	
My Motto	座右の銘	稲葉 俊哉 .. 5
	「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」	
Research Frontline	研究最前線	田原 栄俊 .. 6
	「マイクロRNAによる体液診断と核酸医薬の開発」	
Research Frontline	研究最前線	森山美知子 .. 7
	「慢性疾患疾病管理プログラムを世界に届ける」	
Prize Winner	各賞受賞者紹介	杉山 政則 .. 8
	「平成26年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞・理解増進部門」を受賞して」	
Prize Winner	各賞受賞者リスト	9
Air Mail	広大から海外へ留学している若手の日記	坂本 直也 .. 11
	「米国ミシガン大学留学便り」	
Meeting Report	院生の国際学会参加報告	12
News Digest	最近の新聞記事から	20
Meeting Record	学会等開催記録	24
人事異動	32
Congratulations	大学院修了者一覧	33
	平成26年度文部科学省科学研究費補助金等採択一覧	35
	平成26年度厚生労働省科学研究費補助金採択一覧	44
	平成26年度受託研究受入・民間等との共同研究実績状況	46
	平成26年度奨学寄附金受入状況	46
	寄贈図書一覧	46
	編集後記	片山 恵子 .. 47
	表紙写真説明	47



スーパーグローバル大学として国際化を加速するために

安井 弥 医歯薬保健学研究院長・研究科長

広島大学は、文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援のタイプA（トップ型）に採択されました。世界大学ランキングトップ100を目指す力のある、世界レベルの教育研究を行うトップ大学が対象であり、広島大学の他、旧7帝大、筑波大、東京医科歯科大、東京工大、早大、慶大の合計13大学が選ばれました。

広島大学は、「世界をキャンパスとして展開する広島大学改革構想」を掲げ、教育力強化と研究力強化を両輪として、10年後の世界トップ100入りを目指します。そのためには、卓越した研究拠点の形成・展開、国際通用性の高い教育の提供、流動性の高い教育システムの構築、世界からの優秀な人材の獲得の4つの好循環を生み出すことが必要です。国際化に関する全学の目標値として、受入れ留学生を3倍以上（学生に占める留学生の割合を20%に）、外国語で行う授業数を8倍以上（50%の授業が外国語で）、外国人教員あるいは海外での教育研究歴のある教員を2倍以上（教員の50%以上を占める）などが掲げられています。

留学生増加策については、世界に向けての情報発信、英語による教育の拡充、経済支援を含めたサポート体制の充実などが重要であり、医歯薬保健学研究科でも早急に強化する必要があります。大学全体の留学生1100名中、霞キャンパスの留学生は約90名に過ぎません。情報発信に関しては、研究科ホームページの英語版の充実・整備を図っているところですが、そこからリンクできるよう研究室個別のホームページのEnglish versionの開設を是非お願いしたいと思います。本研究科の学生便覧・履修表の英語化はほぼ完了しました。海外での研究科説明会には積極的に参加する方針であり、先日ホーチミンで説明会を行ってきましたが、会場から溢れるほどの参加者があり、改めてその重要性を認識しました。さらに、増強される海外拠点を活用した入学試験の実施にも前向きに検討したいと思っています。英語による教育拡充の第一歩として、シラバスの英語化、講義に使うパワーポイントの英語表記（あるいは日英併記）、学位論文発表会の英語化、個別の演習科目の英語化を順次行っていく予定です。経済支援・宿舍支援などは一朝一夕にはいきませんが、まず、研究科長による留学生の面談を始めました。大学院修了後に帰国した留学生には、広島大学と母国・母校との橋渡し役が期待されています。医歯薬保健学研究科が主導する形でトルコのバスケント大学との大学間協定を締結する予定ですが、これにも本研究科修了者が仲介役として大きな役割を果たしてくれました。

医歯薬系では外国人教員あるいは海外での教育研究歴のある教員は既に50%を超えていると思います。また、歯学分野では、学部レベルでも現在19人の留学生が在籍しており、さらに、カンボジアに歯学国際共同大学院を新設する計画です。承継教員が全学の1/4を占め、教員組織と教育組織を分離した医歯薬保健学研究科は、スーパーグローバル大学トップ型としての広島大学を先導する責務があると考えています。皆さまのご協力をお願いいたします。

ご挨拶

**核酸を用いて「発がん機構の解明」と「病気の治療」を目指します**

紙谷 浩之 医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 薬学分野 核酸分析化学 教授

Hiroshima BHS Newsをお読みの方々に、ご挨拶申し上げます。本年7月より、大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 薬学分野 核酸分析化学研究室の教授として勤務している紙谷浩之と申します。

北海道大学薬学部卒業後に大学院に進学し、中途退学して同大学に勤務いたしました。その後、福岡県の産業医科大学産業生態科学研究所→北海道大学薬学部（大学院薬学研究科）で勤務した後、愛媛県の愛媛大学理学部（大学院理工学研究科）に教授として勤務しておりました。生まれも育ちも北海道ですが、不思議と西日本に縁があり、今回の広島大学着任に至りました。また、薬学・医学・理学という具合に、雰囲気異なる組織で勤務して参りました。

研究の主軸は一貫して、研究室名にも含まれている核酸です。化学的には、DNA・RNA及びその前駆体などですが、遺伝情報に関わる重要な機能を有する生体分子です。現在行っている研究は、(1)損傷核酸による変異・発がん機構の解明と(2)遺伝子治療用核酸の開発です。以下に、簡単に紹介したいと思います。

(1) 損傷核酸による変異・発がん機構の解明：核酸は化学物質ですので、化学反応により別の物質（損傷）が生じます。活性酸素・紫外線・環境物質などによる核酸の損傷は遺伝情報の維持に不可欠な塩基対形成に大きな影響を及ぼし、複製・転写・翻訳の過程において「誤った塩基対」形成を誘発する可能性があります。例えば、活性酸素によりグアニンから生ずる、8-ヒドロキシグアニンという損傷塩基は、「正しい」シトシンのみならず「誤って」アデニンとも対を形成するために、複製時に変異を誘発します。そこで、このような損傷塩基を有する核酸を用いて、変異・発がん機構、さらには老化・神経変性などの原因を明らかにしようとしています。

(2) 遺伝子治療用核酸の開発：遺伝子治療法の一つとして、外来遺伝子を細胞内で発現させる方法がありますが、現時点ではその効率は十分ではありません。多くの研究者は、遺伝子を細胞内に導入すれば発現すると誤って認識していますが、遺伝子が存在するだけでは転写は起こりません。細胞内ではDNAに結合する様々なたんぱく質がその転写制御に関わっています。このような細胞内たんぱく質との相互作用を制御して発現効率を適切なレベルにすることができるDNAの作製を目指しています。また、染色体遺伝子の配列を目的の配列に細胞内で変える技術は、究極の遺伝子治療法となり得ます。この技術には、相同組換えに関わるたんぱく質が関与していると考えられています。そこで、そのたんぱく質の好み（特異性）に基づいて核酸を設計して、実用化を目指しています。この研究においては、マウス個体で成功しています。

以上、簡単に研究を紹介させていただきました。末筆になりますが、皆様の御指導御鞭撻をお願いいたします。

革新的イノベーション創出プログラム「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」

山脇 成人 医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 医学分野 精神神経医科学 教授

文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム（COI）」に、広島大学がマツダと連携して応募した「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点（以下、感性COI拠点）」結果、応募総数190、採択件数12という狭き門を突破して採択されました。本プログラムは、10年後の社会像を見据えて、企業だけでは実現できないハイリスクではあるが実用化の期待が大きい異分野融合・連携型の革新的なイノベーションの実現を目指す拠点に、最長9年間、大型研究費を支援するものです。今年4月、旧第3中央診療棟1階に感性イノベーション拠点施設が竣工し、3T MRIが導入され、海外から招へいした優秀な特任助教数名とともに研究が本格的に始動しました。

「モノ」の豊かな現代社会において、うつ病や自殺者の急増など社会問題化しており、産業革命以後の物質的なイノベーションは限界にきています。そこで感性COI拠点では、農沢隆秀マツダ技術研究所長をプロジェクトリーダー、私が研究リーダーとして、従来の「モノの豊かさ」から、精神的価値が成長する「こころの豊かさ」へのパラダイムシフトをコンセプトに、モノとこころが調和する「こころ豊かな社会」を実現する感性イノベーションの創出を提案しました。

感性イノベーションの鍵となるのが、人と人、人とモノを感性で繋ぐBrain Emotion Interface (BEI) の開発であり、最新の脳科学を応用したBEIの開発に取り組んでいます。BEI技術により、これまで困難であった感性の可視化（見える化）を可能にし、個人の感性に対応した製品、サービスの開発を通して、衣食住、車、教育、医療など多様な分野において社会の大きな変革が起こることを期待しています（図1）。

広島大学を中核機関とする感性COI拠点では、マツダをはじめ、シャープ、中国電力、三菱レイヨン、アンデルセンなど多くの企業が参画し、また、広島県主催のひろしま感性イノベーション推進協議会などとも連携して、産官学一体となってBEIの開発、BEIを活用した製品開発に取り組んでいます。

また、感性COI拠点は、サテライト拠点として、知覚研究で実績のある生理学研究所とNTTデータ経営研究所を中心としたグループ、光技術を得意とする静岡大学、浜松ホトニクスを中心としたグループが加わり、総勢20を超える大学、研究機関、企業が参画するユニークな拠点です。9月には岡崎にて夏の研究会と称して、これら参画機関に属する100名を超える若手研究者、開発者が一同に集まり、ワークショップ「BEIが実現すると社会はどう変わるか」などで熱心な議論が繰り広げられ（図2）、最長9年間のプロジェクトですが、良い形でスタートダッシュを切ることができました。今後、広島大学を中心として全参画機関一丸となって、BEIの開発と社会実装を目指す所存です。



図1：感性イノベーションが実現する社会

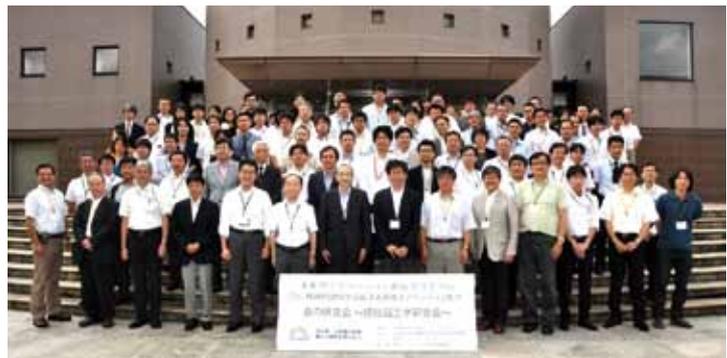


図2：感性COI拠点・夏の研究会（生理学研究所にて）

My Motto

座右の銘

「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」

Old soldiers never die; they just fade away...♪

稲葉 俊哉

原爆放射線医科学研究所 所長
ゲノム障害医学研究センター がん分子病態研究分野 教授

思えば、色んな研究テーマに関わってきた。

入局まもなく、小児科医をしながらの「夜の研究者」デビューは、染色体分析だった。調子が出た頃に必ずかかってくる「〇〇ちゃん、点滴漏れました」という天敵じゃなかった点滴コールに悩まされながら、染色体数が80本も90本もある4倍体の小児がん細胞、おまけに訳の分からない複雑な異常を持つ染色体がテンコ盛りで、毎晩悶絶した。おかげで、今でも11番染色体と12番染色体が一目で識別できる。

次のテーマは転写因子。染色体転座から首尾よくキメラ転写遺伝子を単離して、サイエンスに載せた。点滴もれに追いかけて回されていた小児科医が、アメリカで研究を始めて3年目。カラオケボックスで練習していたド素人に、突然テレビの歌番組から出演依頼が舞い込んだようなもの。調子に乗って、臨床を捨てて研究者に転向する、無思慮なことをしてしまった。

それで次がアポトーシス。その転写因子がアポトーシスを抑制することが分かった。当時アポトーシスはお祭り、雲霞のごとく研究者が群がっていた。白血病の原因である転写因子が、アポトーシスを抑制するというシナリオは時流に乗り、今度はネイチャーに載った。

その頃日本に戻ってきてラボを持ち、ご縁があって広島に来た。アポトーシス、中心体、mRNA安定性、MDSの原因遺伝子単離... 元気いっぱい若い人たちと一緒に、手当たり次第いろいろやった。

昔の記憶の方が、最近の記憶よりも鮮やかな（気がする）のは歳のせいかな。自分で実験をすることが、いつしなくなってしまったせいかな。

今は、低線量放射線影響研究を何としてでも軌道に乗せるつもりである。最後のご奉公と思い定めている。

先日ベラルーシに行った時、先方の研究所長に、ロシア名物のウォッカの一气呑みを挑まれた（特別な訓練を積んだプロが行う危険な芸です。よい子のみなさんは決してまねをしないように）。55%アルコール、雑味がなくて本当においしい。それをカパッとやる。自分でも信じられないくらい冷静に、あと7杯が限界かな、もう少しいけるかな、などと瀬踏みして、1～2杯余裕を残して終了した（勝ったわけではないので、誤解なきよう。勝てる相手ではない）。翌朝さわやかな目覚め。自分の能力を客観的に評価することは、まだできる。自信を持った。

残り少なくなってきた研究者としての余命を、慎重に推し測りながら、低線量放射線影響研究の軌道投入をやり遂げたい。Old soldiers never die...♪と口ずさみながら。



マイクロRNAによる体液診断と核酸医薬の開発

田原 栄俊 医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 薬学分野 細胞分子生物学 教授

体内にある細胞から分泌されるものとして細胞外小胞が注目をあびています。細胞外に分泌される脂質二重膜構造の小胞は、「エクソソーム」とよばれる50-150nmほどのウイルス様の顆粒から1000nmまで様々な大きさのものが知られています。エクソソームは、血液、母乳、精液、唾液、髄液など様々な体液中に多数存在しており、細胞間のコミュニケーションツールとして働いていることが明らかになり、世界中で注目をあびています。受精の成立には、卵子から出されるCD9陽性のエクソソームが必須であるし、生まれてきた赤ちゃんが飲む母親の母乳にも多数のエクソソームが存在し赤ちゃんの免疫増強にも関与しています。細胞外小胞の顆粒中には、非コードRNAであるマイクロRNAが含まれていることが明らかになっていますが、母乳中にあるエクソソームは免疫に関わるマイクロRNAが多数含まれるなど生物学的にも非常に興味深い報告が多数見られます。さらに興味深いことにがんや認知症などの病気において、血液中のマイクロRNAが大きく変化することが明らかになり、疾患のバイオマーカーとしても脚光をあびています。米国では、2013年夏に国立衛生研究所（NIH）において1,700万ドルが細胞外RNAと細胞外情報伝達研究のために拠出されています。日本では、今年に経済産業省NEDOが、総額約79億円の事業規模で「体液中マイクロRNA測定技術基盤開発」を開始しました。広島大学も認知症とがんの診断で参画をし、疾患別のマイクロRNAデータベース化、バイオマーカーの創出のバリデーションを担当しています。

我々は、がんや認知症のバイオマーカー検索とともに、低分子化合物および核酸医薬の抗がん剤開発を次世代がん研究プロジェクトで進めています。低分子化合物の抗がん剤は、当研究室で開発したDSE-FRET assayとよばれるDNAとタンパク質の相互作用を*in vitro*で簡便かつハイスループットでできる方法を用いて実施しています（*Cancer Science* 2014）。この方法は、標的とするDNA結合蛋白質とその結合配列を含む4つのオリゴヌクレオチドがあれば、1つのチューブ内で3回のピペッティングを行いプレートリーダーで読み取るだけの非常に簡便な方法で、あらゆるDNA結合蛋白質に応用可能なものです。核酸医薬の開発については、細胞老化を誘導するマイクロRNAやsiRNAについての開発を行っています。がん細胞は、正常細胞にはない不死性を獲得した細胞ですが、逆の見方をすると老化するスイッチが壊れているという仮説を立てて、そこにマイクロRNAが関与していることを突き止めました（*JCB* 2011）。miR-22は、その代表的なもので、がん細胞ではエピジェネティックな変化によりその発現が低下しており、miR-22を補充することによりがん細胞では顕著な老化が誘導されます。さらに「老化誘導マイクロRNA」の下流にある標的遺伝子としてスプライシングに関与するPRPF19に着目し、この遺伝子のノックダウンによりがん細胞で顕著な細胞老化または細胞死を誘導することを見いだしました。現在、老化を誘導するマイクロRNAおよびPRPF19siRNAの実用化に向けた開発を次世代がん研究プロジェクトで実施しています。



慢性疾患疾病管理プログラムを世界に届ける

森山 美知子 医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 保健学分野 成人看護開発学 教授

世界の疾病構造は大きく変化し、感染性疾患から非感染性疾患へと比重が移行したにも関わらず、わが国では医療提供体制がそれに伴わず、慢性疾患は増加し続けています。生活習慣病を中心とする慢性疾患の多くは予防が可能であるにも関わらず、不十分な知識や管理技術のまま、人々は発症や再発を繰り返しています。我々はこれまで、セルフマネジメント教育を中心とした疾病管理プログラムを開発し、

効果を検証してきましたが、医療費支払い制度等の壁に阻まれて実用化には至りませんでした。

そんな矢先、国民健康保険の財政負担に苦しみ広島県呉市が私達のプログラムを採用してくれました。日本では毎年、3万人が新規に透析に移行し、その約半数が糖尿病の悪化によるものです。この医療費増に苦しんでいる呉市、呉市医師会とともに、開発した「糖尿病腎症重症化予防プログラム」を、透析に限りなく近い疾病段階にある人々に提供したところ、透析への移行が防げ、以後、透析導入患者数は減少するようになりました(図)。これが「呉市モデル」として政府に取り上げられ、日本再興戦略「データヘルス計画」として、平成27年度から全医療保険者に実施が義務付けられることになりました。

呉市モデルの展開後、広島大学産学連携室の強いバックアップもあり、2010年大学発ベンチャーとして(株)DPPヘルスパートナーズを設立しました。当研究室は、国際看護師協会が強力に推し進めている高度実践看護師(慢性疾患看護専門看護師)の養成を大学院博士課程前期で行っています。現在、この養成のノウハウを基礎に、糖尿病腎症に限らず、幅広くプログラムを開発し、北海道から沖縄まで、DPPヘルスパートナーズから医療保険者を通して、健康リスクを有する被保険者に対して慢性疾患疾病管理プログラムを提供しています。将来的には、がんの疾病マネジメント、地域ケアにまで拡大する計画です。「看護の技術で世界中の人々を幸せに！」をモットーに、必要とする人がいれば地球の裏側にでもサービスを届けるつもりです。ITを活用した遠隔指導機器・技術も研究開発し、今年度後半には東南アジアの駐在員を対象に開発したプログラムを届けます。順次、新しい技術を研究開発し、人々にタイムリーに届ける良循環を構築していきたいと考えています。

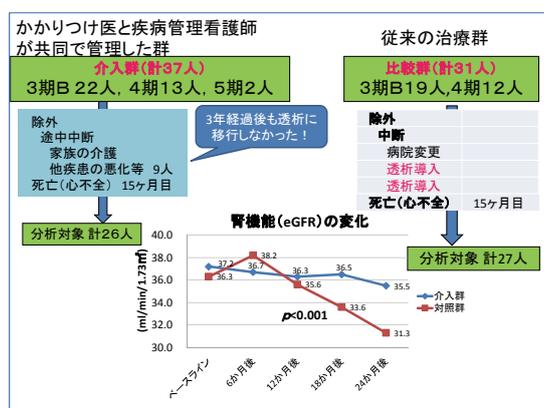


図 呉市で実施した糖尿病腎症重症化予防事業の結果

脳卒中の再発予防に向けた保健指導プログラムの効果検証では(厚生労働省科学研究費)、脳梗塞患者321人を病型別に介入群と対照群に無作為割付し、6ヶ月の再発予防プログラムを提供しました。2年間の追跡途中ですが、現在、再発者数は、介入群7人に対して、対照群(通常治療群)16人(累積再発者数20人)で、プログラムの有効性が示されています。

各賞受賞者紹介



「平成26年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞・理解増進部門」を受賞して

杉山 政則 医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 薬学分野 遺伝子制御科学 教授
薬学部長

「科学技術賞」は、科学技術に関する研究開発や理解増進等において顕著な成果を収めた者に対し、その功績を讃えるために文部科学大臣が表彰する賞で、5つの部門があります。私は、乳中での増殖が難しい植物乳酸菌の効率的な増殖法を見出したことがきっかけで、世界初の「植物乳酸菌ヨーグルトの製造技術開発」に成功

しました。その功績が高く評価され、平成20年度の文部科学大臣表彰「科学技術賞・技術部門」を受賞しました。この度は、2度目の文部科学大臣表彰「科学技術賞」を「理解増進部門」で受賞しました。

具体的には、「健康長寿社会の実現に向けた先進乳酸菌科学の普及啓発活動」が顕著な業績として評価されたこととなります。その背景には、平成15年4月から平成23年3月まで、文部科学省・知的クラスター創成事業、経済産業省・地域資源活用型研究開発事業、更に文部科学省・都市エリア産学官連携促進事業の各杉山プロジェクトを通じて、果物、野菜、花、薬用植物などから乳酸菌を探索分離し、得られた植物乳酸菌の生物機能に関する基礎研究とその応用技術開発を推進してきました。特に、未病や生活習慣病の予防改善に植物乳酸菌が有用であることを示しました。そして、植物乳酸菌の優れた保健機能性を理解・認識してもらうために、市民講座、食品・医療関連学会での特別講演、高校への出前授業のほか、代表世話人として「日中韓乳酸菌国際シンポジウム」を毎年主催することを通じ、高校生、大学生、企業人、一般市民、並びにアジアの人々に対し、先進乳酸菌科学の普及啓発に努めて参りました。他方、植物乳酸菌の研究成果の地場企業への技術移転を通じて、中小企業の開発意欲を高めるとともに、地域食品産業の活性化を進めるために活動してきました。更に、食品の保健機能性を臨床評価する組織「臨床評価・予防医学プロジェクト研究センター」を本学大学院医歯薬保健学研究院に創設しました。この組織に登録された被験者ボランティアは今や4,100名を超え、健康を意識する人々の理解増進に役立っているものと思います。また、学生や市民の乳酸菌科学への理解増進の一助として、科学啓蒙書「基礎と応用 現代微生物学（共立出版）」と「植物乳酸菌の挑戦（広島大学出版会）」を執筆（いずれも単著）しました。嬉しいことに、前者は日本図書館協会の選定図書に選ばれています。

私は、40年間、抗生物質生産菌としての「放線菌」の分子生物学及び構造生物学的研究に携わってきました。言わば、放線菌の基礎研究は私のライフワークです。一方、乳酸菌研究は平成15年から開始したので、未だ専門家とは言えませんが、その研究結果に一喜一憂する毎日を過ごしています。私にとっての充実した人生とは「生涯のうち感動的な研究結果に何度出会えるかで決まる」ものと考えています。今後とも、感動が多く得られるよう放線菌と乳酸菌の研究に力を注ぎます。

各賞受賞者リスト

各種表彰等の受賞について 平成26年4月1日～平成26年9月30日

賞の名称	受賞者			受賞理由	授与者	授与年月日
	専攻等	講座等	氏名			
平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	遺伝子制御科学 (教授)	杉山 政則	健康長寿社会の実現に向けた先進乳酸菌科学の普及啓発。	文部科学大臣	平成26年 4月15日
平成25年度日本心エコー学会海外学会発表優秀論文賞	病院	循環器内科 (医科診療医)	宇都宮 裕人	Incremental Value of Rest Echocardiographic Findings over Conventional Stress Echocardiography for Diagnosing Myocardial Ischemiaに関する研究発表について学術性・獨特性・表現法が高く評価されたため。	日本心エコー学会 理事長	平成26年 4月18日
Experimental Biology 2014, Gastrointestinal & Liver Section of the APS (American Physiological Society). Poster of Distinction.	医歯薬保健学研究院 医歯科学専攻	分子細胞情報学 (修士課程2年)	日野 健太	消化管・肝臓部門でのポスター発表の内容が優れていたため。	Chair, GIL Section Programming Committee	平成26年 4月28日
第10回日本アレルギー学会学術大会賞	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	病態解析治療学 (助教)	横大路 智治	受賞課題「加水分解小麦感作による小麦依存性運動誘発アナフィラキシーの原因抗原の解析」が、学術の発展に貢献する研究と評価されたため。	日本アレルギー学会 理事長	平成26年 5月9日
Best Poster Award 16th European Society for Sports Traumatology, Knee Surgery and Arthroscopy (ESSKA) Congress	医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門	整形外科学 (教授)	越智 光夫	16th ESSKA Congressで発表したポスター「Central anatomic single-bundle anterior cruciate ligament reconstruction versus single-bundle augmentation: Clinical and second-look arthroscopic study」がLigament部門で審査員により優秀と認められたため。	President of 16th ESSKA Congress	平成26年 5月17日
	医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門	運動器機能医科学 (教授)	出家 正隆			
	医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門	整形外科学 (助教)	中前 敦雄			
	病院	整形外科 (准教授)	安達 伸生			
第31回日本TDM学会・学術大会優秀ポスター賞	薬学部	薬学科 5年	江良 門佳	第31回日本TDM学会・学術大会(平成26年5月31日～6月1日:東京)にて、「セフォゾランの脳脊髄液への移行性と標的部位におけるPK-PDの評価」という演題で研究発表を行い、優秀ポスター賞を授与された。	第31回日本TDM学会・学術大会 大会長	平成26年 5月31日
The Pulse of Asia 2014 Best Poster Presentation	医歯薬学総合研究科 展開医科学専攻	循環器内科学 (博士課程4年)	松本 武史	Impact of Aldosterone Producing Adenoma on Endothelial Function in Patients With Primary Aldosteronismに関する研究発表について学術性・獨特性・表現法が高く評価されたため。	President of POA Chair Organizing Committee, POA 2014	平成26年 6月13日
2014年度日本毒性学会 田邊賞	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	生体機能分子動態学 (教授)	太田 茂	日本毒性学会英文学術雑誌The Journal of Toxicological Sciencesに掲載された論文が、2013年に掲載された論文の中で最も価値ある論文4報のうちの1報として選ばれたため。	一般社団法人日本 毒性学会 理事長	平成26年 7月3日
	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	生体機能分子動態学 (准教授)	古武 弥一郎			
	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	生体機能分子動態学 (助教)	佐能 正剛			
	医歯薬保健学研究院 医歯薬学専攻	生体機能分子動態学 (博士課程3年)	宮良 政嗣			
	医歯薬保健学研究院 薬科学専攻	遺伝子制御科学 (博士課程後期1年)	石田 慶士			
2014年度日本毒性学会 ファイザー賞	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	生体機能分子動態学 (教授)	太田 茂	日本毒性学会英文学術雑誌The Journal of Toxicological Sciencesに2011年に掲載された論文の被引用回数が多かったため。	一般社団法人日本 毒性学会 理事長	平成26年 7月3日
	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	生体機能分子動態学 (准教授)	古武 弥一郎			
	医歯薬学総合研究科 薬学専攻	生体機能分子動態学 (博士課程前期修了生)	橋田 智世			
第6回日本歯科医学教育学会国際学会研究発表奨励賞	医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門	国際歯科医学連携 開発学 (特任講師)	岡 広子	International Symposium on Health Through Oral Health Collaborative Education, Research and Practices (2013年12月、タイ)における発表、「Effects of Web learning on understanding level of international students with a short-term exchange program at HUD」(共同発表者:ケテウツスアルディタ、高田隆)が日本の歯科医学教育に関する優れた発表であると認められたため。	日本歯科医学教育 学会 理事長	平成26年 7月4日
第9回小胞体ストレス研究会学生最優秀発表賞	医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻	分子細胞情報学 (博士課程修了生)	浅田 梨絵	発表内容が特に優れていると認められたため。	第9回小胞体スト レス研究会事務 局世話 人	平成26年 7月5日
第32回日本骨代謝学会学術賞	医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門	分子細胞情報学 (教授)	今泉 和則	小胞体発動シグナルによる骨軟骨形成制御に関して、優れた研究を行い成果を挙げたため。	日本骨代謝学会 理事長	平成26年 7月25日
日本臨床口腔病理学会奨励賞	医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門	口腔顎顔面病理病 態学講座(助教)	古庄 寿子	口腔病理学(実験病理学部門)において、優れた研究成果を挙げ、口腔病理学の発展に裨益するところ大なるものがあったため。	日本臨床口腔病 理学 会 理事長	平成26年 8月28日
日本口腔検査学会優秀ポスター賞	病院	口腔検査センター (助教)	新谷 智章	口腔検査の保険導入のための取り組みが、評価されたため。	第7回日本口腔 検査 学会 総会・学術大 会 長	平成26年 9月7日

各賞受賞者リスト

賞の名称	受賞者			受賞理由	授与者	授与年月日
	専攻等	講座等	氏名			
平成26年度救急功労者表彰（総務大臣表彰）	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門	救急医学 （教授）	谷川 攻一	広島市消防局救急救命士養成所で、外来講師として毎年質の高い講義を実施するとともに広島県メディカルコントロール協議会会長として救急業務高度化に尽力されたこと、また、救急救命九州研修所の教授として研修所の立ち上げから携わり全国の救急救命士養成に貢献したことが認められたため。	総務大臣	平成26年 9月9日
第12回産学官連携功労者表彰～つなげるイノベーション大賞～厚生労働大臣賞	医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門	整形外科学 （教授）	越智 光夫	「自家培養軟骨ジャックの開発と製品化」で日本発の再生医療技術で製品化に成功した初めての事例として、高く評価されたため。	厚生労働大臣	平成26年 9月12日
第31回有機合成化学セミナーポスター賞	医歯薬保健学研究院 薬科学専攻	（創薬合成化学） 博士課程後期3年	近藤 泰博	第31回有機合成化学セミナーにおけるポスター発表「キラリリチウムアミドによる不斉還元反応を利用した新規合成反応の開発」が優秀と認められたため。	第31回有機合成化学 セミナー実行委員長	平成26年 9月18日
平成26年度日本癌学会奨励賞	医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門	分子病理学 （准教授）	大上 直秀	「網羅的解析から同定した胃癌関連遺伝子の臨床的意義と幹細胞における役割」についての研究が、癌研究の進歩に顕著に寄与し、将来の発展を期待し得るものと認められたため。	日本癌学会理事長	平成26年 9月27日
第56回歯科基礎医学学会学術大会・総会学生ポスター賞	歯学部	歯学科 6年	平田 真弓	歯周病原細菌 <i>Porphyromonas gingivalis</i> (<i>Pg</i>) 感染や <i>Pg</i> -LPSが正常および脂肪化肝細胞に及ぼす影響を比較検討した研究発表について、学術性・独創性・表現法が高く評価されたため。	第56回歯科基礎医学 学会学術大会・総会 会頭	平成26年 9月27日

広大から海外へ留学している若手の日記

米国ミシガン大学留学便り

坂本 直也 医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 医学分野 分子病理学 特任助教 (当時)

私は現在米国ミシガン州アナーバーのミシガン大学に留学しています。ミシガン大学はアナーバーという人口約10万人の都市にあり、豊かな自然に囲まれています。近郊の大都市としては、東方60キロにデトロイト、西方350キロにシカゴが位置しておりますが、非常に治安もよく、充実した留学生生活を過ごすことができています。

研究室を主宰するEric R. Fearon先生は、大腸癌の発生・進展に関わる遺伝子研究の権威であり、1990年にジョーンズ・ホプキンス大学のBart Vogelstein教授とともに大腸癌における多段階発癌の概念を発表された他、以前留学されていた本学消化器外科 檜井孝夫先生とともに腸上皮細胞特異的ホメオボックス転写因子であるCDX2の機能解析も行ってこられました。現在の私の研究テーマは、正常結腸及び大腸癌におけるCdx 2発現消失に関する解析です。私はマウス実験の経験がなく、当初は大変苦労しましたが、ラボの同僚やマウスルームのスタッフに助けをもらいながら、研究を進める事が出来ています。現在のラボのポスドクでは私は唯一のM.D.ですが、医師、病理医として癌という病気を実際に見たことがある、その形態像を詳細に説明することができる、という経験、スキルが、いかに研究領域でアドバンテージがあるかということに改めて実感しています。また各々のラボメンバーに研究者として異なる背景があり、それぞれが持つ高いスペシャリティーを少しでも吸収すべく、毎日のようにディスカッションしながら、和気あいあいと研究できる環境が非常に新鮮で、刺激的でもあります。しかしながら、同時にこの一年間で二人のラボメンバーの契約が打ち切られるという厳しい現実も目の当たりにしました。Fearon先生と顔を合わすと、間髪入れず“What's new?”とたずねられ、ラボミーティングでの厳しい質問、膨大な量の実験プランの提案を頂くにつけて、成果至上主義に裏打ちされる厳しい競争社会のプレッシャーをひしひしと感しますが、良い意味での『刺激』を受けながら充実した日々を過ごしています。

最後になりましたが、このような貴重な留学の機会を与えていただきました安井 弥教授ならびに広島大学の諸先生方に心より御礼申し上げます。



私の所属するBSRB (Biomedical Science Research Building) 外観



The 10th Asian & Oceanian Epilepsy Congress(シンガポール)に参加して

片桐 匡弥 医歯薬学総合研究科 博士課程4年 創生医科学専攻 脳神経外科学研究室

私は、大学院医歯薬保健学研究科海外発表支援を受け、2014年8月7日から10日にかけて開催されたThe 10th Asian & Oceanian Epilepsy Congressに参加し、ポスター発表を行いました。演題名は「Efficacy of a surgical intervention combining vagus nerve stimulation with corpus callosotomy in patients with Lennox-Gastaut syndrome and multiple seizures」で、小児期に難治性てんかんを発症するLennox-Gastaut症候群に対する脳梁離断術後の残存発作に対する迷走神経刺激療法の効果について検討した内容でした。残念ながら質問はされませんでした。他のポスター発表や口演発表を聴き、日本人のみの学会では得られない着想に触れることができました。また、プログラムも脳深部刺激療法など最新のてんかん診療に関わるものから、アジア農村部でのてんかん診療の現状と幅広い内容で興味深いものばかりでした。ただ、英語での発表は聞き取れないことも多く英語力のなさを痛感しました。今後よりよい英語でのプレゼンテーション・ディスカッションができるように努力していきたいと思いました。



International Association for Dental Research(ケープタウン)に参加して

吉本 哲也 医歯薬学総合研究科 博士課程4年 創生医科学専攻 歯周病態学研究室

私は6月25日から28日に南アフリカ、ケープタウンで開催されたInternational Association for Dental Research (IADR)に参加し、ポスター発表を行ってきました。羽田空港発シンガポール経由で約1日かけケープタウンに到着しましたがやはりケープタウンは遠かったです。(当然ながらエコノミーですのでとても疲れしました。)ケープタウンは時期的には秋から冬くらいの季節でしたが、気温は20～25℃くらいでとても過ごしやすい快適な気候でした。日本とは異なる自然の形、大きさ、濃さには圧倒されるばかりで今でも鮮明に容易に思い出すことができます。さて、学会会場では歯科の多くの分野、すべての、といっても良いと思いますが、その人数また規模には驚かされました。私はTGF- β_1 induces mitochondria-dependent apoptosis in human gingival epithelial cellsという演題で発表させていただき、たくさんの方に質問してもらい非常に良い体験、勉強になりました。世界中の人々が口演、シンポジウムをしている中で多くの日本の先生方が壇上におられる姿は、とても堂々としておられ格好良く、自分もいつかはあのようになりたいと強く思いました。大会期間中の夜にはJapan nightと言った日本人だけのパーティーがあり、多くの先生方とたくさんお話をさせて頂き、とても楽しく有意義な時間を過ごせました。自分のポスター発表に関しては事前の準備もあり、多くの質問にも答えることができました。研究室の教授をはじめ諸先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験を生かし今後も精進していこうと思います。

院生の国際学会参加報告



2014 World Forum on Biology(サバンナ)に参加して

赤木 恵理 医歯薬学総合研究科 博士課程4年 創生医科学専攻
分子口腔医学・顎顔面外科学研究室

今回私は、2014年5月31日から6月4日にかけてアメリカ合衆国ジョージア州サバンナで行われた、2014 World Forum on Biologyに参加させていただきました。この学会は植物及び動物について細胞、組織、器官のin vitro生物学の知識交換を促進する組織培養学会として、毎年開催されている国際学会です。私はヒトの歯髄、血球からのiPS細胞誘導について、ポスター発表をさせていただきました。初めての国際学会参加ということもあり、まずは英語でのポスター作成に苦戦しました。ポスターは掲示して質問を受けるというスタイルで、数人の方が興味を持って質問して下さいましたが、なかなか伝えたいことを英語に直すことができず、じれったさを感じました。それでも、こちらのジェスチャーを交えてのつたない説明に辛抱強く付き合ってく下さる方も多く、コミュニケーションの勉強となりました。また、他の方のポスターについても説明していただく機会がありましたが、自分と同様に英語が母国語でない同世代の研究者達が、流暢に英語で説明している姿を見るのはとても良い刺激となりました。また、今回の経験によって、海外の研究者達と意見・情報交換することの楽しさを知ることができました。今後は今回の貴重な機会を無駄にすることのないよう、普段から留学生達との交流の機会を大切に、もっと積極的にコミュニケーションが取れるようにしたいと思います。



ERS International congress 2014(ミュンヘン)に参加して

秋田 慎 医歯薬学総合研究科 博士課程4年 展開医科学専攻 分子内科学研究室

ドイツのミュンヘンで2014年9月6日から9月10日にかけて開催されましたEuropean Respiratory Society International Congress 2014に参加し、「Antitumor effect of a humanized antibody against aminopeptidase N in mouse tumor models.」というタイトルでポスター発表を行いました。

Aminopeptidase Nは一部の腫瘍細胞表面に発現している膜蛋白で、腫瘍の血管新生や浸潤に関与し、腫瘍の進展を促進しているとされています。本研究はこのAminopeptidase Nに対するヒト型抗体を作成し、マウスモデルを用いてその抗腫瘍効果を検討したものです。座長の先生からは、抗体の精製や確認等についての意見やアドバイスをいただき、他の研究者とも有意義な情報交換を行うことができました。また、他のセッションでは間質性肺炎に関する臨床試験の経過報告等の発表や、COPD、喘息、バイオマーカーなど多岐にわたり興味深い発表が多く、非常に刺激になりました。

今回はこのような機会を与えていただき、諸先生方、大学院生海外発表支援関係者の皆様に御礼申し上げます。

院生の国際学会参加報告



ESC congress 2014 (バルセロナ) に参加して

渡邊 義和 医歯薬学総合研究科 博士課程4年 展開医科学専攻 循環器内科学研究室

今年度、私は2014年8月30日から9月3日までスペイン・バルセロナで開催されたEuropean Society of Cardiology (ESC) congress 2014に参加しました。会場となるConvention centerはサグラダファミリアなどの世界遺産が集中する街の中心部からタクシーで20分程離れたビジネス地区に位置していました。私は昨年度も同制度を利用してアメリカの学会 (AHA Scientific sessions 2013) に参加させて頂きました

がESCはヨーロッパの中心的学会という事もあって、ヨーロッパを始め中近東～アジアまで多人種の人たちが参加しており規模もかなり大きなものでした。発言言語は英語でしたが参加者のほとんどがnative speakerではないためか、かなり聞き取りやすかったのが印象的でした。

今回、私は“Quantitative assessment of left atrial mechanics and substrate abnormality assessed by three-dimensional echocardiography and electroanatomical mapping system in patients with atrial fibrillation”の内容でポスター発表を行いました。これはこれまで主に左室壁運動を定量的に評価するために用いられていた3Dストレインエコーを左房に応用して発作性心房細動患者における左房運動異常を定量化し侵襲的な電気生理学的検査所見と比較する事で有意な相関関係を見いだす事ができた、との内容です。各国の研究者から様々な質問があり今後の研究の方向性を決める上で参考となる意見をたくさん聞くことができました。今後は今回の学会での質問や他施設での発表内容に基づいて臨床応用に向けて研究を重ねて行きたいと思います。

今回の海外発表を通して研究を進めていくモチベーションを高めることができ、非常によい経験でした。最後になりますが渡航費用や宿泊費など、負担の多い海外発表を支援するこの制度に感謝いたします。



Digestive Disease Week 2014(シカゴ)に参加して

西山 宗希 医歯薬保健学研究科 博士課程3年 医歯薬学専攻 消化器・代謝内科学研究室

2014年5月3日から5月6日まで、アメリカのシカゴで開催されましたDigestive Disease Week 2014 (米国内視鏡学会 (ASGE) 主催) に参加させて頂きました。発表内容は、潰瘍性大腸炎におけるエンドサイトスコピーに関する検討でポスター発表でしたが、大変貴重な経験となりました。近年、生体内で病理診断に極めて近い診断が可能なエンドサイトスコピーが開発され、消化管腫瘍に対する

臨床的有用性が報告されていますが、炎症性腸疾患の分野では未だ報告が少ないのが現状です。そのため、欧米の医師達は食い入るようにポスターを見ておられ、厳しい質問もいただきました。英語での返答に窮する場面もありましたが、海外医師の向上心の高さに大いに刺激を受けて参りました。多くの日本人医師が司会や様々なセッションで活躍しておられ、日本がこの分野をリードしていることを実感しました。学会開催は5月初旬でしたが、シカゴの朝夕は日本より随分気温が低く、体調管理に気を使いました。しかし、食事も美味しく風光明媚であり、今後の研究を続けて行く上で多くのエネルギーをいただいた学会参加となりました。今回の経験を生かして今後も内視鏡診療、研究に精進していきたいと思います。最後になりましたが、このような発表の機会を与えていただきました消化器代謝内科の茶山一彰教授、内視鏡診療科の田中信治教授、直接のご指導をいただきました内視鏡診療科の岡志郎先生に心より御礼申し上げます。

院生の国際学会参加報告



World Transplant Congress 2014(サンフランシスコ)に参加して

Verma Sapana 医歯薬保健学研究科 博士課程3年 医歯薬学専攻
消化器・移植外科学研究室

I was glad that I got a chance to participate in World Transplant Congress 2014 held in San Francisco, California, from 26.07.2014 to 31.07.2014. It was a huge joint conference of four transplant societies. More than 1000 Transplant surgeons, scientists, Nephrologists, Transplant coordinators, Nurses and Pharmacists from all around the world participated in this Congress. On day 1 and 2 we had pre-meeting where there were special lectures about the issues related to organ transplantation. From day 3-6 we had lectures and presentations in four sessions starting from 7 am to 5:30 pm. And I did the poster presentation titled “FOXP3 Gene rs3761548 A Carriers are Susceptible to Acute Cellular Rejection in Living Donor Liver Transplantation” in this congress. There was also a special seminar for Women in Transplantation. It was one of the huge international congresses for people in the field of transplantation.



2014年米国泌尿器科学会議(AUA)(オーランド)に参加して

永松 弘孝 医歯薬保健学研究科 博士課程3年 医歯薬学専攻 腎泌尿器科学研究室

2014年5月16日から21日にアメリカ合衆国のフロリダ州、オーランドで開催されました、米国泌尿器科学会議(AUA)に参加いたしました。私としては、初めての国際学会参加、発表であり、すさまじい緊張感と怖いもの見たさの好奇心とが交錯しておりました。泌尿器科の学会としては、世界最大規模の学会であり、世界中から泌尿器科医が集まっており、国際交流の最前線と感じました。私の発表は“FGF19 subfamily promotes progression in prostate cancer cells.”でした。自分のふがいない英語力のため、発表は何とかこなしたものの、会場からの質問内容を理解できず、まともな回答ができなかったことが、非常に残念でありました。来年もこの学会で発表して、今回のリベンジを行いたいと心から誓った学会でした。アメリカと言えば、場所によっては非常に治安が悪いところもありますが、オーランドはディズニーリゾートの本場でもあり、治安は非常によく、人気のない夜道でも普通に歩いてホテルまで帰れるくらいすごしかったです。おかげさまで、初めてのアメリカ合衆国を堪能することができました。最後に、このような貴重な発表の機会を与えていただいた、泌尿器科松原教授をはじめ、広島大学に大変感謝いたします。



Euroanaesthesia2014(ストックホルム)に参加して

三好 寛二 医歯薬保健学研究科 博士課程3年 医歯薬学専攻 麻酔蘇生学研究室

私は麻酔蘇生学教室に所属する3年次の大学院生です。平成26年5月31日から6月3日の日程で、スウェーデンのストックホルムで行われた国際学会、Euroanaesthesia 2014に参加し、同教室で行われている研究内容の一部を発表しました。学会にはヨーロッパ圏を中心とし、各国から多くの麻酔科医や手術関連のスタッフが参加していました。私は2つの演題をポスターセッションで発表し

ました。一題は、「Two different variants of p.2508 in Japanese malignant hyperthermia patients causing hypersensitivity of RyR1 receptor (悪性高熱の遺伝子研究)」で、もう一題は臨床研究で「Intravenous patient-controlled analgesia, a risk factor of postoperative delirium (手術後に患者調節自己鎮痛法を行った患者さんの術後のせん妄の発生要因の検討)」でした。私は今回が二度目の国際学会での発表でしたが、語学面で経験不足を感じる場面も多々ありました。学会期間中は多数の講演を聴講し、ポスターセッションに参加して意見交換をしました。今回の経験を生かし、今後も国際社会で活躍できるように頑張りたいと思います。ご支援ありがとうございました。



17th International Congress on Oral Pathology and Medicine(イスタンブール)に参加して

長崎 敦洋 医歯薬保健学研究科 博士課程2年 医歯薬学専攻
口腔顎顔面病理病態学研究室

私は、2014年5月25日から5月30日にかけてトルコのイスタンブールで開催された17th International Congress on Oral Pathology and Medicineに参加し、Significance of fusion gene analysis for the differential diagnosis of mucoepidermoid carcinomaという演題でポスター発表をさせていただきました。唾液腺腫瘍は病理診断が難しい疾患の1つであり、病理医間で意見が異なることも稀ではありません。今回の発表

内容は、唾液腺悪性腫瘍の1型である粘表皮癌におけるキメラ遺伝子の解析とその病理診断学的意義であり、近年、病理診断において注目されているトピックスの1つです。発表では、世界中から集まった著名な先生方を前に緊張しましたが、無事に発表を終えることができました。また、世界各国から集まった多数の演題を見聞きし、非常に貴重な経験でした。本学会ではこの他にも、歯原性腫瘍のWHO分類改訂にあたり、活発な議論が行われました。

今回の海外発表では、今後さらに研究を進めていくにあたって、非常に良い刺激を受けることができました。このような機会を与えてくださいました先生方、関係者の皆様に深謝致します。

院生の国際学会参加報告



欧州医学教育学会 (AMEE) 2014 (ミラノ) に参加して

大戸 敬之 医歯薬保健学研究科 博士課程2年 医歯薬学専攻 歯科医学教育学講座

2014年8月30日から9月3日まで、イタリアのミラノで開催されたThe Association for Medical Education in Europe 2014に参加し、ポスター発表を行ってきました。今回、学会発表自体が初めてであり、海外での発表でもあったので非常に緊張しておりました。しかし、同じ週にラトビアのリガで開催された欧州歯科医学教育学会 (ADEE) で先に発表を行っていたので、このAMEEでは少しリラックスして発表を行うことができました。そこで私は「The importance of external training and training team size in clinical practice.」というタイトルでのポスター発表を行いました。発表時には私の英語力の問題もあってか、質問は少なかったのですが、別途メールでの詳細な質問もあり、新たな視点からの切り口を頂いたので、まさに発表した甲斐があったと感じます。このAMEEは欧州と冠していますが、全世界から医学教育に関わる方々が集まり、様々な地域、状況の方々とディスカッションを行うことができ、非常に有益な情報と人脈を手に入れることができたのではないかと感じます。また開催場所がミラノという一大観光都市であることから例年以上の投稿数の中、採択され発表することができて非常に幸いに思いました。この経験を糧に今後も日本の歯科医学教育、医学教育の発展につなげるようにしっかりと研究に邁進していきたいと思えます。



7th World Congress of Biomechanics (ボストン) に参加して

石島 ゆり野 医歯薬保健学研究科 博士課程前期2年 保健学専攻
生体運動・動作解析学研究室

この度、私は2014年7月6日から11日にかけてアメリカのボストンで開催された7th World Congress of Biomechanicsに参加し、「Movement strategy during turn-over in subjects with functional ankle instability」という演題でポスター発表を行いました。この学会は、世界中のバイオメカニクス研究者が集う国際学会です。私は、現在足部・足関節に着目した動作解析を研究テーマとしており、今回は足関節機能的不安定性を持つ人の方向転換動作について発表をしました。国際学会への参加は初めてであり、英語での発表に難しさを覚えることもありましたが、同時に英語で他国の方とディスカッションする面白さも感じることもできました。質疑応答では、他分野（工学系等）の研究者から意見を伺うことができました。それらは今後の国内や海外での学会に活かすことができると考えております。

修士論文として、歩行中の足部の役割をテーマの1つとしており、今回の学会でもそれについて多角的に発表されていました。多くの発表を聞き、どのようなパラメーターが何を意味して用いられているのかということを知り、修士論文へのヒントを得ることができました。実際に今回得られたことを織り込んで研究を進めている最中です。

今後は、今回得られた知識や刺激を基に、修士論文の作成および国際学会での発表に結び付けていきたいと思っております。

最後に、学会参加にあたりご指導いただいた先生方とご支援をいただいた医歯薬保健学研究科に感謝申し上げます。

院生の国際学会参加報告



19th annual congress of the European College of Sport Science (ECSS)(アムステルダム)に参加して

馬 玉宝 医歯薬保健学研究科 博士課程後期3年 保健学専攻 運動器機能医科学研究室

アムステルダムで2014年7月2日から5日にかけて開催されました19th annual congress of the European College of Sport Scienceに参加し、「Effects of different surgical methods of anterior cruciate ligament reconstruction on knee joint function」という演題で口演発表を行いました。

海外でプレゼンテーションを行うのは、今回で4度目（大学院生海外発表支援を受け3回）ということもあり、抄録の作成、現地登録とコミュニケーションなど、国際学会での発表に伴う様々な手続きがより順調に行えていることを実感しました。英語コミュニケーション能力の向上には、国際学会での口演発表は大変有意義であると思っております。セッションでの発表は大会の主会場で行い、英語でのdiscussionは大変緊張しましたが、質問者からの率直な意見や疑問、同じ領域の参加研究者たちとの情報交換により、大変貴重な経験をさせて頂くことができました。

最後に、今回はこのような有意義なチャンスを与えて頂き、ご指導、ご支援いただいた諸先生方、本学関係者の皆様に御礼申し上げます。



Congress of Asian College of Psychosomatic Medicine(ジャカルタ)に参加して

野坂 見智代 医歯薬保健学研究科 博士課程後期3年 保健学専攻
精神機能制御科学研究室

2014年8月22日から23日までジャカルタにて、From Research to Clinical Practice in Psychosomatic Medicineをテーマに国際学会が開催されました。周辺は国際銀行やホテルが建ち並び、日系企業も多く進出する地域でした。私は、岡村仁教授との共同研究“A single session of integrated yoga program as a stress management education for school staff employees: daily practice vs non-daily practice”を口頭発表しました。この十数年の間に精神的疾患を理由に休職する教職員の割合は3倍に増加しており、各人のストレス対処能力の向上は急務と言えます。ストレスマネジメント教育の枠組みにて多様なストレスマネジメントを内包するヨーガの各種行法の理論と実践を、年1回限りの人間ドック形式にて実施したところ、3ヶ月後、日常にて活用した者は心身の健康が促される結果となりました。Cost-effectivenessの観点からも簡便で有用なプログラムと考えられます。また、日本ヨーガ療法学会が開発し、東日本大震災においても実施されたプログラムはワークショップにて紹介され、私は解説書とDVDの無料配布を担当しました。患者の一助にしたいと考えられ、有用なプログラムを積極的に求める方々との交流は有意義なものとなりました。これまで3回に渡ってご支援を頂く中、毎回、貴重な体験をさせていただきました。医歯薬保健学研究科のご支援くださった関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

院生の国際学会参加報告



Experimental Biology 2014(サンディエゴ)に参加して

日野 健太 医歯薬保健学研究科 修士課程2年 医歯科学専攻 分子細胞情報学研究室

2014年4月26日から30日にかけて、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで開催されたExperimental Biology 2014に参加し、小胞体ストレストランスデューサー OASIS欠損マウスにおける薬剤誘発性大腸炎に対する感受性についてポスター発表を行いました。Experimental Biologyは大きな国際学会であり、5つの学会が合同で主催しています。そのため、様々な国や分野の研究者と対話することができ、非常に有意義な学会参加となりました。日本の学会では、ポスターを見に来て下さる方が、ほとんど直接、間接的に関係のある分野の研究者なので、無関係の分野の研究者が見に来てくださる機会がありませんでした。そのような研究者の方にも来ていただけたことで、想像もしていなかった新しい視点を持つことが出来たことも国際学会に参加できたことの成果となりました。拙い英語ではありましたが懸命にディスカッションを行い、色々な助言を受け、poster of distinctionという賞もいただいて、自分の研究及び英語力に自信を持つことができ、モチベーションの向上にもなりました。私は今回が初めての国際学会であり、初めて一人で海外に出ることとなりました。道中は不安で一杯でしたが、この国際学会を無事に一人で乗り切ることができたことで、どこでも一人で行けるような気がしています。修士の2年生という身分でありながら、貴重な経験をさせていただいたことを非常に感謝しております。

最近の新聞記事から

- 広島県が広島大病院に委託
「自殺未遂者追跡調査」まとまる
広島大大学院精神神経医科学 岡本准教授に聞く (医菌薬保) (中国 4 / 2)
-
- 県ドクターヘリ 西区に拠点完成 (病院) (中国 4 / 7)
-
- 杉山教授 (広島大大学院) 科学技術賞
文科大臣表彰 植物乳酸菌を研究 (医菌薬保) (中国 4 / 8)
-
- 専門医が診る
広島大病院整形外科 越智光夫教授
変形性膝関節症 人工関節や細胞移植も (病院) (中国 4 / 9)
-
- 杉山教授に文科大臣表彰
広大院 植物乳酸菌 普及に尽力 (医菌薬保) (朝日 4 / 12)
-
- 脳波で感情分析 商品開発の拠点
広島大やマツダ 研究施設が完成 (医菌薬保) (中国 4 / 12)
-
- パワハラ提訴で請求棄却求める
広島大 原医研めぐり (原医研) (中国 4 / 17)
-
- 原医研嫌がらせ訴訟 賠償請求棄却求める
広大と教授 (原医研) (読売 4 / 17)
-
- 家庭医からの便り 1 横林賢一
あなたの専門医
どんな分野も相談OK (病院) (中国 4 / 23)
-
- 広島大医学部ふるさと枠
初の卒業生控えルール
中山間地域勤務なら診療科自由に選択 (医学部) (中国 4 / 26)
-
- 専門医が診る (読者からの質問編)
広島大病院整形外科 越智光夫教授
変形性膝関節症 手術安全性高く効果大
膝に痛み悪化させぬ運動法は 平らな場所選んで歩く
手術後リハビリでも痛み取れず 体を動かす生活習慣を
糖尿病患者感染症防ぐには 定期的に整形外科受信
軟骨細胞移植高齢でも可能? 部分欠損なら保険適用 (病院) (中国 4 / 30)

最近の新聞記事から

- 原爆被害や復興学ぶ
ピースフォーラム始まる (原医研) (中国 5 / 12)
-
- 専門医が診る
広島大病院消化器外科・移植外科 大段秀樹教授
肝細胞がん 手術安全性高く効果大 (病院) (中国 5 / 14)
-
- 広大医学部
追試120人全員不合格
「本試験と同じが伝統」ネットに (医学部) (毎日 5 / 16)
-
- 似島で慰霊の発掘
被爆者ら収容の臨時野戦病院跡
きせるなど遺品や遺骨
広島大院生の嘉陽さん (医歯薬保) (中国 5 / 20)
-
- 高血圧どう予防
25日に市民講座 (病院) (中国 5 / 21)
-
- IAEAと「協働」医療人材育成誓う
HICAREが式典 (医歯薬保) (中国 5 / 27)
-
- 近距離被爆者12人健在
広島爆心地500_{メートル}以内 放射線苦しみ今も
鎌田・広島大名誉教授 追跡調査 (原医研) (中国 6 / 2)
-
- 伝えるヒロシマ^⑤
爆心地500_{メートル} 奇跡の生存78人の記録 (原医研) (中国 6 / 2)
-
- 12日から広島大病院に窓口
長期患者ニーズ合わせ仕事紹介 (病院) (読売 6 / 3)
-
- 専門医が診る (読者からの質問編)
広島大病院消化器外科・移植外科 大段秀樹教授
肝細胞がん
移植手術も検討すべきか 合併症リスクも考慮を
再発リスク減らすには 肝炎をしっかりと治して
放射線治療主流ではない? 単独で用いる例少ない
免疫細胞療法どの程度活用 「治す」より再発防止に軸 (病院) (中国 6 / 4)
-
- 保健学科編入学を廃止
広島大方針 受験者が激減 (医学部) (中国 6 / 7)

最近の新聞記事から

- がん患者ら就職支援
広島労働局 広島大病院に窓口 (病院) (中国 6 / 13)
-
- 医学部保健学科の編入廃止
3年次 広島大、志願者減で (医学部) (読売 6 / 19)
-
- 放射線治療データ集約
広大発VB、管理システム
計画・作動確認 タブレットで (医歯薬保) (日本経済 6 / 19)
-
- 肺がん 最新手術法紹介
中区で公開講座 (病院) (中国 6 / 30)
-
- 乳がんサロン交流の輪
中区に開設3年
患者の不安解消専門医ら助言も (病院) (中国 7 / 2)
-
- ドーム破片触れて学ぶ
牛田小6年生 広大・医学資料館を見学 (医学部) (毎日 7 / 10)
-
- うつ病の仕組みや最新治療法を紹介
19日講座 (医歯薬保) (中国 7 / 15)
-
- CTの肺がん検診画像
ネットで共有 複数医が判断
三原市医師会病院 広島大院と連携 (医歯薬保) (中国 7 / 17)
-
- ストレッチでロコモ予防*
中区で市民公開講座 (病院)
*ロコモティブシンドローム (運動器症候群) 予防 (中国 7 / 28)
-
- 禁煙で動脈硬化リスク減 DNA損傷回復
広島大院講師らのチーム研究 (医歯薬保) (中国 8 / 9)
-
- 採血1回がん13種発見
国立センターや広島大検査法開発へ (病院) (中国 8 / 19)
-
- 入院中の子ら 楽しくアート
広島大病院でイベント (病院) (中国 8 / 23)
-
- DMAT (災害派遣医療チーム) 医療対応支える (病院) (朝日 8 / 23)

最近の新聞記事から

避難所体操元気出そう

被災の理学療法士、呼びかけ

生活不活発病予防に

自然と体動かすこと重要（医歯薬保）

（朝日 8 / 29）

DPAT（災害派遣精神医療チーム）、チーム増へ

先遣隊、30人診療 不眠や無気力訴え（病院）

（朝日 8 / 29）

受診被災者3割不眠

精神医療チームまとめ（病院）

（中国 8 / 29）

筋力低下・口の病気防げ

理学療法士・歯科医ら指導

家事・運動機会減り歯磨き不十分に（医歯薬保）

（中国 9 / 2）

デング熱特徴知り予防を

相次ぐ国内感染過度に恐れなくて

高熱が1週間自然に回復

身近な場所蚊増やさない（病院）

（中国 9 / 9）

越智・広島大教授に大臣賞

再生医療企業と連携（医歯薬保）

（中国 9 / 12）

心臓病の予防医師らが解説 呉で27日（医歯薬保）

（中国 9 / 15）

広島県メタボ健診受診率全国最下位

行政と県民協力し「挽回」を

週3回の有酸素運動が効果的／早期発見へ継続受診を（医歯薬保）

（中国 9 / 19）

学会等開催記録

学会等開催記録 平成26年4月1日～平成26年9月30日

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 4月14日 (月) 4月15日 (火)	第1回アジア太平洋関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 1st Congress of Asia-Pacific Knee, Arthroscopy and Sports Medicine Society	奈良県新公会堂	第1回アジア太平洋関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 1st Congress of Asia-Pacific Knee, Arthroscopy and Sports Medicine Society テーマ: Let's Maximize Asia-Pacific Vitality Starting from Japan 1. 会長講演 Presidential Lecture Mitsuo Ochi (President of APKASS / Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University, Japan) 2. 高木&渡辺アワード講演 Takagi & Watanabe Award Lecture 1. One-stage Revision Anatomical ACL Reconstruction Konsei Shino (Sports Orthopaedics Center, Yukioka Hospital, Japan) 2. Arthroscopy and Orthopaedic Sport Medicine? What's NEW on the Horizon Kai-Ming Chan (Department of Orthopaedics & Traumatology, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong) 3. 特別講演 Special Lecture 1. Biomechanics of Bony Defects in Anterior Shoulder Instability Eiji Itoi (Department of Orthopaedic Surgery, Tohoku University School of Medicine, Japan) 2. Should the Artificial Ligament Have Its Position in ACL Reconstruction Shiyi Chen (Fudan University Sports Medicine Center, Huashan Hospital, China) 3. Stiff Knee : Etiologies and Treatment, Intrinsic Factors François Kelberine (EFOST past president) 4. Stiff Knee : Extrinsic Factors and Treatment Mahmut Nedim Doral (Department of Orthopaedics Traumatology, Hacettepe University, Turkey) 5. Anatomical Single Bundle ACL Reconstruction with Modified Transtibial Technique Myung Chul Lee (Department of Orthopaedic Surgery, Seoul National University College of Medicine, Korea) 6. Isoanatomical Single-bundle ACL Reconstruction A3B: 'The Wedge Gives the Edge' & 'Bone-to-bone for Best Fit' Niklaus F. Friederich (Center of Biomechanics, University of Basel, Switzerland)	医歯薬保健学研究院 整形外科学
平成26年 4月16日 (水)	第151回原医研セミナー	総合研究棟7階 701セミナー室	「原医研被爆者データベース (ABS) の実態とその活用」 講師: 佐藤 裕哉 先生 (広島大学原爆放射線医科学研究所) 「原医研に保存されている被爆者生体試料の現状」 講師: 杉原 清香 先生 (広島大学原爆放射線医科学研究所)	原爆放射線医科学研究所事務局
平成26年 4月19日 (土)	第116回広島消化器病研究会	広仁会館大会議室	第116回 一般演題: 22題. 教育講演: 講師 恵木 浩之 先生 (広島大学大学院 消化器・移植外科) 特別講演: 講師 藤田 直孝 先生 (仙台市医療センター仙台オープン病院)	広島大学病院 内視鏡診療科 広島消化器病研究会事務局

学会等開催記録

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 4月24日 (木) 4月26日 (土)	第103回日本病理学会総会	広島国際会議場 ANAクラウンホ テルプラザ広島	第103回日本病理学会総会 メインテーマ：「叡智の協働－未来の病理学のため－」 宿題報告（3題） 海外招聘講演（2題） レクチャーシリーズ（6題） 特別企画「病理学－復興・創生・展開・未来－」 「学生の声：病理学の魅力と期待」 シンポジウム（2テーマ） ワークショップ（8テーマ） インターナショナルセッション 日中交流ワークショップ オープンフォーラム 病理診断講習会 コンパニオンミーティング（12テーマ） 一般口演・一般ポスター（約1150演題） 市民公開講座「市民と病理の接点を探る－乳がんの診断と治療を通して－」など	医歯薬保健学研究院 分子病理学研究室
平成26年 4月26日 (土)	第6回広島県糖尿病・腎不全療養指導看護研究会	広仁会館大会議室	第6回広島県糖尿病・腎不全療養指導看護研究会 (第1回減酒支援研修会) テーマ「減酒支援の理論と実践：ブリーフィングターベンションとHAPPYプログラム」	医歯薬保健学研究院 成人看護開発学 森山美知子教授
平成26年 5月8日 (木)	第19回広島リハビリテーション研究会	広仁会館大会議室	「障害者スポーツから学んだ医学的知見：障害者スポーツは障害者のためのみならず」 講師：田島 文博 先生 (和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 教授) 「動作解析から得られた打球障害に関わる知見：インピンジメント症候群の発症リスク」 講師：矢内 利政 先生 (早稲田大学スポーツ科学学術院 教授)	広島大学病院 リハビリテーション科
平成26年 5月11日 (日)	第269回広島眼科症例検討会	ホテルグランヴィア広島	症例検討・供覧 「治療経過の異なるアルカリ眼外傷の2例」 井之川 宗右 先生 (広島大学) 特別講演 「放射線影響と緑内障研究」 特任助教 桂 真理 先生 (東京大学アイソトープ総合センター) 「網膜静脈閉塞症への挑戦」 准教授 野間 英孝 先生 (東京医科大学八王子医療センター眼科) 「死なないやつら－極限環境の生きものたち」 准教授 長沼 毅 先生 (広島大学大学院生物圏科学研究科 環境評価論講座)	医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 視覚病態学 木内良明教授
平成26年 5月11日 (日)	第18回広島県呼吸ケア看護研究会	第5講義室	第18回広島県呼吸ケア看護研究会 テーマ「人工呼吸器ケア－ベーシックコース－」	医歯薬保健学研究院 成人看護開発学 森山美知子教授
平成26年 5月12日 (月)	第152回原医研セミナー	放射線影響研究所講堂	「How May “Non-Targeted” Effects of Radiation Influence the Risk of Low Dose Exposures－「非標的効果」は低線量放射線のリスクにどのように影響するか－」 講師：John B. Little 先生 (ハーバード大学公衆衛生学教室) 「The Metabolic Response to Low Dose Irradiation－低線量放射線に対する代謝応答－」 講師：Zhi-Min Yuan 先生 (ハーバード大学公衆衛生学教室)	原爆放射線医科学研究所事務室
平成26年 5月15日 (木)	第153回原医研セミナー	総合研究棟7階701セミナー室	「新生時期甲状腺ホルモンかく乱作用の影響評価」 講師：藤本 成明 先生 (広島大学原爆放射線医科学研究所) 「染色体転座形成の分子機構の解明」 講師：孫 継英 先生 (広島大学原爆放射線医科学研究所)	原爆放射線医科学研究所事務室

学会等開催記録

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 5月24日 (土) 5月25日 (日)	第3回臨床高血圧フォーラム	国際会議場	特別講演 「高血圧とエピジェネティクス～減塩の重要性～」 座長：松浦 秀夫 先生 (済生会呉病院) 演者：藤田 敏郎 先生 (東京大学先端科学技術研究センター 臨床エピジェネティクス講座) 特別企画Ⅰ 「減塩サミットin広島2014-減塩道を極める!!-」 特別企画Ⅱ 「私たちが「ヤノマミ」である」 座長：河野 雄平 先生 (国立循環器病研究センター病院 高血 圧・腎臓科) 演者：国分 拓 (NHK大型企画開発センター)	医歯薬保健学研究院 循環器内科学
平成26年 5月27日 (火)	第28回 広島胆膵症例検討会	広島赤十字・原爆 病院 3階会議室	症例検討 「胆管狭窄の1例」 鍋島 新司 先生 (広島大学病院 消化器・代謝内科)	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 消化器・代謝内科学 佐々木民人講師
平成26年 6月2日 (月)	第154回原医研セミナー	総合研究棟7階 701セミナー室	「Targeting self-renewal function of normal and leukemic hematopoietic stem cells」 講師：R. Keith Humphries 先生 (Terry Fox Laboratory, University of British Columbia) 「Epigenetic regulation of neural development and the etiology of neural tube defects」 講師：Kristen L. Kroll 先生 (Department of Developmental Biology, Washington University School of Medicine)	原爆放射線医科学研究所 幹細胞機能学研究分野 ／原医研事務室
平成26年 6月4日 (水)	第45回広島整形外科先端 医学セミナー	広仁会館中会議室	「Using motion analysis to predict, prevent, and rehabilitate ACL injuries」 講師：Evangelos Pappas, Ph.D. (Associate Professor in Physiotherapy and Biomechanics, University of Sydney, Australia)	医歯薬保健学研究院 整形外科
平成26年 6月13日 (金)	Landiolol セミナー	リーガロイヤルホ テル	一般演題 座長 山野上 敬夫 先生 (県立広島病院 救命救急センター セン ター長) 「頻脈性心房細動を合併した急性心不全に対し ERからLandiololを使用した1症例」 河村 夏生 先生 (JA広島総合病院 救急・集中治療科) 「門脈肺高血圧症合併患者の生体肝移植術中の Landiololの使用経験」 三好 寛二 先生 (広島大学病院 麻酔科) 特別講演 座長 救急医学教授 谷川 攻一 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院) 「周術期の循環管理とβブロッカー ～循環器 内科医の立場から～」 河野 了 先生 (筑波大学 医学医療系 救急・集中治療 部 病院教授)	医歯薬保健学研究院 救急医学
平成26年 6月15日 (日)	第21回 「日本歯科医療福祉学会 大会および総会」	広島大学歯学部 大講義室	テーマ：「すべてのライフステージのすべての方 に口腔からの健康を」 特別講演 「小児をとりまく社会環境と歯科医療」 香西 克之 先生 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授) 教育講演 「摂食・嚥下困難者に提供する食品の物性を考 える」 栢下 淳 先生 (県立広島大学 人間文化学部 健康科学科 教授) シンポジウム テーマ：「食からの歯科医療福祉を考えよう」	医歯薬保健学研究院 口腔発達機能学研究室 大会長 天野秀昭 準備委員長 原久美子

学会等開催記録

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 6月19日 (木)	第46回広島整形外科先端 医学セミナー	医学部第4講義室	「股関節外科の変遷と今後の展望」 講師：金子 和夫 先生 (順天堂大学医学部 整形外科 教授)	医歯薬保健学研究院 整形外科
平成26年 6月20日 (金)	第7回 PBOCH Pncreato-Biliary Oncology Club in Hiroshima	ホテルグランヴィ ア広島 3階「天平」	一般演題 「当院におけるFOLFIRINOX導入症例報告」 新里 雅人 先生 (JA尾道総合病院 消化器内科) 「当院におけるFOLFIRINOXの使用経験」 辰川 裕美子 先生 (広島大学病院 消化器・代謝内科) 特別講演 「胆膵痛に対する化学療法～最近の話題から～」 奥坂 拓志 先生 (国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内 科 科長)	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 消化器・代謝内科学 佐々木民人講師
平成26年 6月23日 (月)	第20回広島リハビリテ ーション研究会	広仁会館大会議室	「パーキンソン病－治療薬と嚥下障害－」 講師：上野 弘貴 先生 (広島大学病院脳神経内科 助教) その他一般講演3題	広島大学病院 リハビリテーション科
平成26年 7月5日 (土)	広島肝臓シンポジウム	ホテルグランヴィ ア広島	第10回広島肝臓プロジェクト研究センターシンポ ジウム Session I：ウイルス Session II：癌 Session III：代謝・免疫	医歯薬保健学研究院応用生 命科学部門消化器・代謝内 科学(肝臓研究室)
平成26年 7月11日 (金)	DICフォーラム	ANAクラウンプ ラザホテル	演題Ⅰ 座長 広島大学大学院救急医学 准教授 廣橋 伸之 「救急医学領域におけるDIC治療の現状 基礎 実験から臨床研究まで」 井上 貴昭 先生 (順天堂大学医学部附属浦安病院 救急 診療科 先任准教授) 演題Ⅱ 座長 広島大学大学院救急医学 教授 谷川 攻一 「敗血症診療におけるエビデンスの整理と推奨 される治療戦略－日本版敗血症診療ガイドラ インとSSCG2012を対比しながら」 小谷 禮治 先生 (兵庫医科大学 救急・災害医学講座 主任教授)	医歯薬保健学研究院 救急医学
平成26年 7月11日 (金)	第155回原医研セミナー	総合研究棟6階 604セミナー室	「Utility of Human Mesenchymal Stem Cells in Preclinical Toxicity Testing」 講師：Dr. Prakhya Balakrishna Murthy 先生 (International Institute of Biotechnology and Toxicology)	原爆放射線医科学研究所 細胞修復制御研究分野 ／霞地区運営支援部総務グ ループ
平成26年 7月17日 (木)	セブシスカンファレンス	広仁会館 大会議室	一般演題 座長 広島大学大学院救急医学 准教授 廣橋 伸之 1. プレセプシンが敗血症診断に有効であった 低ナトリウム血症の2例 鈴木 慶 先生 (広島大学病院 高度救命救急センター) 2. 腎臓場の1例 佐伯 辰彦 先生 (県立広島病院救命救急センター) 3. 当院における敗血症Bundle 櫻谷 正明 先生 (JA広島総合病院 救急・集中治療科) ～特別講演～ 座長 広島大学大学院救急医学 教授 谷川 攻一 「各種の重症感染症に対する適切な抗菌薬治療」 古川 恵一 先生 (聖路加国際病院 内科 感染症科 部長)	医歯薬保健学研究院 救急医学

学会等開催記録

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 7月17日 (木)	第156回原医研セミナー	総合研究棟7階 701セミナー室	「DNA損傷応答に関わる低酸素応答分子機構の解明」 講師：谷本 圭司 先生 (広島大学原爆放射線医学研究所) 「偽足突起プロテオミクスにおける新技術－エキシマレーザーと2次元電気泳動の融合」 講師：見前 隆洋 先生 (広島大学原爆放射線医学研究所)	霞地区運営支援部 総務グループ
平成26年 7月17日 (木) 7月18日 (金)	日本乳酸菌学会2014年度 大会	メルパルク広島 6 F 平成の間	特別講演 「Health Benefits of Kimchi (Korean Fermented Vegetables) as a Probiotic Food」 Professor Kun-young Park (Pusan National University, KOREA) 学会賞受賞講演 「乳酸菌の新産業創成をめざした戦略的研究」 園元 謙二 先生 (九州大学大学院農学研究院 生命機能科学 部門・教授) 一般演題30題	医歯薬保健学研究院 薬学分野 遺伝子制御科学研究室 杉山政則教授
平成26年 7月19日 (土)	第62回広島病理集談会	広島大学医学部 基礎・社会医学棟 セミナー室2	外科病理診断能力の向上のためのカンファレンス (7症例)	医歯薬保健学研究院 病理学研究室 武島幸男教授
平成26年 7月24日 (木) 7月27日 (日)	第6回日本関節鏡・膝・ スポーツ整形外科学会	広島国際会議場	第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 テーマ：「創造力は未来を拓く」 会長講演 「膝関節における私の関節鏡手術 現在－過 去・未来」 越智会長 特別企画 「勝利の思考法」 元広島カープで国民栄誉賞を受章された衣笠幸 雄さんとスポーツジャーナリストの二宮清純さ んの対談 Watanabe Award Lecture 1. 「30 Years in ACL Surgery: What I Have Learned」 Freddie Fu (University of Pittsburgh) 2. 「理想の膝前十字靭帯再建術を求めて－こ の35年間の覧古考新－」 安田 和則 先生 (北海道大学) 招待講演 1. Cartilage Repair With Different Chondrogenic Cells; An Update Mats Brittberg (University of Gothenburg) 2. Hip Arthroscopy in 2014 - State of the Art Marc R Safran (Stanford University) 3. Gap Balancing and joint line restoration through a volumetric concept Paolo Adravanti (Clinic Citta di Parma, Italy) 4. Long Term Follow-Up of the Original All- Inside Technique with Manual Drilling for an Anatomic ACL-R Giuliano Cerulli (Sacred Heart Catholic University, Italy)	医歯薬保健学研究院 整形外科学
平成26年 7月26日 (土)	平成26年肝疾患診療連携 拠点病院市民公開講座	広島大学霞キャン パス 広仁会館	平成26年度市民公開講座、肝臓学会共催 演題＋質疑応答＋個人相談 「肝臓がんについて知っていますか？」 高木 慎太郎 先生 (広島赤十字・原爆病院) 「慢性肝疾患の栄養療法」 平松 憲 先生 (広島大学病院)	広島大学病院 肝疾患相談室
平成26年 7月31日 (木)	第157回原医研セミナー	総合研究棟7階 701セミナー室	「造血細胞移植後の慢性GVHDにおける男性特異 的マイナー組織適合性抗原の役割」 講師：川瀬 孝和 先生 (Fred Hutchinson Cancer Research Center)	原爆放射線医学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 ／霞地区運営支援部総務グ ループ

学会等開催記録

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 8月1日 (金)	第20回 分子細胞情報学セミナー	総合研究棟7階 701セミナー室	テーマ:「骨リモデリングの制御機構の解明」 講師:中島 友紀 先生 ・東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研 究科 分子情報伝達学 独立准教授(分 野長) ・JST さきがけ研究 研究代表者	医歯薬保健学研究院 分子細胞情報学
平成26年 8月3日 (日) 8月10日 (日)	INU看護ワークショップ	保健学 研究科棟 106会議室、301、 302、310号室、基 町団地	テーマ「災害看護」 参加大学:広島大学、ジェームスマディソン大学 (アメリカ)、フリンダース大学(オー ストラリア)、ロビーラ・イ・ビルジ リ大学(スペイン)、マルメ大学(ス ウェーデン)、カトリックパラヤンガ ン大学(インドネシア)	医歯薬保健学研究院 成人看護開発学 森山美知子教授
平成26年 8月23日 (土)	第8回 広島消化管内視鏡ライブ セミナー	広島大学医学部 第5講義室/診療 棟B1階内視鏡診 療科	ライブデモンストレーション テーマ:「基本手技の標準化を目指して」 術者およびコメンテータ: ①小野 裕之 先生 (静岡県立静岡がんセンター) ②小山 恒男 先生(佐久総合病院) ③後藤田 卓志 先生(東京医科大学) ④矢作 直久 先生(慶應義塾大学) ⑤山野 泰穂 先生(秋田赤十字病院) 特別講演:田尻 久雄 先生 (東京慈恵会医大教授/日本消化器内視 鏡学会理事長)	広島大学病院 内視鏡診療科 広島消化管内視鏡ライブセ ミナー事務局
平成26年 8月25日 (月)	第47回広島整形外科先端 医学セミナー	広仁会館中会議室	「Current Development of Dr.Soetomo Hospital Tissue Bank」 講師:Ferdiansyah Mahyudin, M.D., PhD (Chairman of Department Orthopaedic & Traumatology, Airlangga University)	医歯薬保健学研究院 整形外科学
平成26年 8月28日 (木)	第29回 広島胆膵症例検討会	広島大学病院 診 療棟5階 カンファレンス ルーム②③	症例検討 「十二指腸狭窄の1例」 中村 有希 先生 (広島大学病院 消化器・代謝内科)	医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 消化器・代謝内科学 佐々木民人講師
平成26年 8月28日 (木) 8月30日 (土)	第6回日本RNAi研究会 共催:第1回日本細胞外 小胞学会	グランドプリンス ホテル広島	【ゲノム編集RNAワールド】 JSEVシンポジウム 「RNA in Exosomes and other extracellular vesicles」 Jan Lötvall 先生 (University of Gothenburg, Sweden) 他 8題 JARIシンポジウム 1. RNAウイルス研究と小分子RNA 朝長 啓造 先生 (京都大学ウイルス研究所ヒトがんウイ ルス研究分野 教授) 2. 非コードRNAによる前立腺がん増殖の制 御メカニズム 井上 聡 先生 (東京大学大学院医学系研究科抗加齢医 学講座 特任教授) 3. 分子スイッチとしてのmiRNAとTuD RNA 発現ベクター によるその活性抑制 伊庭 英夫 先生 (東京大学医科学研究所感染免疫部門・宿 主寄生体分野 教授) 4. Nek2 siRNAを用いた新規癌治療法の開発 と臨床応用 國料 俊男 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科附属医 学教育研究支援センター) 5. 肝線維化におけるmiRNAの役割 村上 善基 先生 (大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵 病態内科学 准教授)	医歯薬保健学研究院 細胞分子生物学研究室

学会等開催記録

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 8月28日 (木) } 8月30日 (土)	第6回日本RNAi研究会 共催：第1回日本細胞外 小胞学会	グランドプリンス ホテル広島	特別企画（ゲノム編集技術） 「RNA-guided Genome Engineering Using CRISPR- Cas System: Technology and Application」 Le Cong (Broad Institute of MIT and Harvard) 他 2題 一般演題 11題 ポスター発表 54題	医歯薬保健学研究院 細胞分子生物学研究室
平成26年 8月29日 (金) } 9月7日 (日)	広島県看護協会研修会 「指導者編」	保健学研究科棟 403室	広島県看護協会研修会 「指導者編 看護実践に活かすフィジカルアセス メント」	医歯薬保健学研究院 成人看護開発学 森山美知子教授
平成26年 9月1日 (月)	第1回「広島大学統計科 学研究拠点研究会」	広仁会館 中会議室	「TV-NAIRUの推定」 講師：山田 宏 先生 (広島大学大学院・社会科学研究科社会経 済システム専攻) 「Sparse Logistic Discriminant Analysis」 講師：栗田 多喜夫 先生 (広島大学大学院・工学研究院情報部門) 「がん死亡データに対する変化係数モデルを用い たコホート効果の検出」 講師：富田 哲治 先生 (県立広島大学・経営情報学科) 「混合効果モデルを用いたセミパラメトリックな 変化係数の推測」 講師：佐藤 健一 先生 (広島大学原爆放射線医科学研究所・計量 生物分野) 「統計理論グループの研究紹介」 講師：若木 宏文 先生 (広島大学大学院・理学研究科数学専攻)	原爆放射線医科学研究所計 量生物研究分野
平成26年 9月7日 (日)	第22回広島小児眼科懇話 会	広島国際会義場 タリア2	一般演題 1. 当院における小児若年者の甲状腺眼症の10例 吾川 裕美 先生 木村 徹 先生 (木村眼科内科病院) 2. 当院における若年者の局所麻酔斜視手術 土田 隆一 先生 木村 徹 先生 (木村眼科内科病院) 3. 小児の外斜視に対する片眼後転短縮術の手 術成績 佐藤 佑二 先生 横山 知子 先生 木内 良明 先生 (広島大学) 4. 徐々に進行する内斜視の2手術例 土山 勝也 先生 青木 弘美 先生 木村 徹 先生 (木村眼科内科病院) 特別講演 「小児眼科診療の進歩」 田淵 昭雄 先生 (川崎医療福祉大学医療技術学部 感覚矯正 学科特任教授)	医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 視覚病態学 木内良明教授
平成26年 9月13日 (土)	第19回中皮腫パネル	広島大学医学部 第2講義室	中皮腫関連疾患の診断精度向上のための臨床病理 カンファレンス (10症例) (後援：労働者健康福祉機構)	医歯薬保健学研究院 病理学研究室 武島幸男教授
平成26年 9月13日 (土)	第11回拡大内視鏡研究会	梅田スカイビル タワーウエスト ステラホール (大 阪市)	第11回 テーマ：「拡大内視鏡観察の有用性と限 界」 一般演題：43題 ミニレクチャー：3題 講師 小山 恒男 先生 (佐久医療センター) 海崎 泰治 先生 (福井県立病院 臨床病理科) 味岡 洋一 先生 (新潟大学大学院 分子・病理診断学) ランチョンセミナー：1題 講師 佐野 寧 先生 (薫風会佐野病院)	広島大学病院 内視鏡診療科 第11回拡大内視鏡研究会事 務局

学会等開催記録

開催日	件名	開催場所	内容	事務局
平成26年 9月16日 (火)	第48回広島整形外科先端 医学セミナー	臨床管理棟 2階 2F1会議室	「人工股関節摺動面における生体材料学 -長期 耐用を目指して-」 講師：山本 謙吾 先生 (東京医科大学医学部医学科臨床医学系 整形外科分野 主任教授)	医歯薬保健学研究院 整形外科学
平成26年 9月18日 (木)	第158回原医研セミナー	総合研究棟 7階 701セミナー室	「FTDP-17の原因遺伝子 <i>MAPT</i> の新規挿入変異の 同定」 講師：森野 豊之 先生 (広島大学原爆放射線医科学研究所) 「腫瘍免疫応答を標的とした乳癌治療の開発」 講師：重松 英朗 先生 (広島大学病院)	霞地区運営支援部 総務グループ
平成26年 9月20日 (土) 9月21日 (日)	第11回日本乳癌学会中国 四国地方会	広島国際会議場	特別講演 「我が国における遺伝性乳がん・卵巣がん (Hereditary Breast and Ovarian Cancer : HBOC)の現状と今後の取り組み」 中村 清吾 教授 (昭和大学医学部 外科学講座乳腺外科学部 門) 教育セミナー 「良悪判断困難病変の臨床的対応」 (治療分野) 講師：青儀 健二郎 先生 (四国がんセンター 乳腺・内分泌外科) (診断分野) 講師：何森 亜由美 先生 (高松平和病院 外科) その他のセミナー 9題 デジタルマンモグラフィー／動画エコー グラン プリ 一般演題 99題	会長：片岡健 (広島大学大 学院医歯薬保健学研究院 副研究院長) 檜垣健二 (広島市立広島市 民病院 副院長) 学会事務局：角舎学行 (広 島大学原爆放射線医科学研 究所 腫瘍外科講師)

人事異動

人事異動 平成26年4月2日～平成26年10月1日

発令 月日	異動 内容	氏 名	異動前所属	異動前 職 名	異動後所属・部門等	異動後 職 名
4.21	採用	市川 奈穂			大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (精神神経医科学)	特任助教
4.30	退職	兼安 祐子	大学院医歯薬保健学研究院	助教		
5.1	採用	大上 博史			大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (先端歯科補綴学)	助教
5.1	採用	岡崎 洋平			大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (先端歯科補綴学)	助教
5.1	採用	加澤 佳奈			大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (成人看護開発学)	特任助教
5.1	採用	松田 由喜子			原爆放射線医科学研究所	特任助教
5.11	採用	吉田 充広			病院 口腔再建外科 (歯科麻酔科)	講師
6.1	昇任	下江 幸司	大学院医歯薬保健学研究院	講師	大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 (生体構造・機能修復学)	准教授
6.1	昇任	田地 豪	大学院医歯薬保健学研究院	講師	大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 (口腔生物工学)	准教授
6.1	昇任	虎谷 茂昭	病院	講師	大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (分子口腔医学・顎顔面外科学)	准教授
6.1	昇任	森野 豊之	原爆放射線医科学研究所	助教	原爆放射線医科学研究所 放射線影響評価研究部門 (分子疫学)	准教授
6.1	採用	大久 真幸			大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 (疫学・疾病制御学)	助教
6.1	採用	柳原 啓見			原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター (放射線ゲノム疾患)	助教
6.1	採用	郷田 昭宏			病院 泌尿・生殖器診療科 (泌尿器科)	助教
6.30	退職	河本 健	大学院医歯薬保健学研究院	助教		
6.30	退職	齋藤 敦	大学院医歯薬保健学研究院	助教		
7.1	採用	紙谷 浩之			大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 (核酸分析化学)	教授
7.1	採用	金子 雅幸			大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 (分子細胞情報学)	准教授
7.1	採用	正路 晃一			大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 (腎泌尿器科学)	助教
7.1	採用	Rahman MD Moshir			大学院医歯薬保健学研究院 (保)	特任講師
7.1	採用	笹岡 貴史			大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (精神神経医科学)	特任助教
7.1	採用	町澤 昌宏			大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (精神神経医科学)	特任助教
7.1	配置換	石田 隆史	大学院医歯薬保健学研究院	講師	病院 未来医療センター	講師
7.1	採用	三村 剛史			病院 呼吸器診療科 (呼吸器外科)	助教
8.1	昇任	山本 秀也	病院	講師	大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 (循環器内科学)	准教授
8.1	昇任	田中 茂	大学院医歯薬保健学研究院	助教	大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 (神経薬理学)	講師
8.1	採用	岩本 明子			大学院医歯薬保健学研究院 (歯)	特任助教
8.1	採用	西村 瑞美			大学院医歯薬保健学研究院 (歯)	特任助教
8.1	採用	川瀬 孝和			原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター (血液・腫瘍内科)	助教
8.1	採用	本庶 仁子			原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター (血液・腫瘍内科)	特任准教授
8.1	採用	清水 なつみ			原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター (がん分子病態)	特任助教
8.1	採用	中野 由紀子			病院 循環器診療科 (循環器内科)	講師
8.1	採用	福田 幸弘			病院 循環器診療科 (循環器内科)	助教
9.1	採用	鈴木 哲矢			大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 (核酸分析化学)	助教
9.1	採用	遠藤 充浩			原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター (がん分子病態)	特任准教授
9.1	採用	Elena Karamilova Zaharieva			原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター (放射線ゲノム疾患)	特任助教
9.1	採用	曹 麗麗			原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター (分子発がん制御)	特任助教
9.30	退職	中村 和洋	大学院医歯薬保健学研究院	准教授		
9.30	退職	岩下 未咲	大学院医歯薬保健学研究院	助教		
9.30	退職	木村 友希	大学院医歯薬保健学研究院	助教		
9.30	退職	塩谷 文章	大学院医歯薬保健学研究院	特任助教		
9.30	退職	春田 吉則	病院	講師		
9.30	退職	中村 優子	病院	助教		
9.30	退職	米田 真康	病院	助教		
10.1	配置換	木根原 匡希	大学院理学研究科	特任助教	大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 (細胞分子生物学)	特任助教
10.1	昇任	但馬 剛	大学院医歯薬保健学研究院	助教	大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 (小児科学)	講師
10.1	採用	島田 歩			大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 (小児歯科学)	助教
10.1	採用	山脇 洋輔			大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 (細胞分子薬理学)	助教
10.1	採用	Khung Rathvisal			大学院医歯薬保健学研究院 (歯)	特任助教
10.1	採用	首藤 崇裕			大学院医歯薬保健学研究院 (歯)	特任助教
10.1	採用	村岡 賢			大学院医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 (細胞分子生物学)	特任助教
10.1	採用	米田 真康			病院 内分泌代謝診療科 (内分泌代謝内科)	講師
10.1	採用	飯田 慎			病院 放射線診療科 (放射線診断科)	助教
10.1	採用	片山 桂次郎			病院 循環器診療科 (心臓血管外科)	助教
10.1	採用	田中 教文			病院 泌尿・生殖器診療科 (産科婦人科)	助教
10.1	採用	堀益 靖			病院 呼吸器診療科 (呼吸器内科)	助教
10.1	採用	山崎 佐知子			病院 口腔再建外科 (顎・口腔外科)	助教

大学院修了者一覧

博士課程

平成26年5月22日修了

研究科名	専攻名	氏名	論文題目名
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	伊藤 正興 いとう まさおき	α -Parvin, a pseudopodial constituent, promotes cell motility and is associated with lymph node metastasis of lobular breast carcinoma (浸潤突起を構成する α -Parvinは、乳腺小葉癌において癌細胞の移動を促進しリンパ節転移に関連する)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	岡田 伶 おかだ さとし	The potential of SLC6A4 gene methylation analysis for the diagnosis and treatment of major depression. (大うつ病の診断および治療におけるSLC6A4遺伝子のメチル化解析の有用性)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	木村 俊之 きむら たかし	Establishment of an infectious genotype 1b hepatitis C virus clone in human hepatocyte chimeric mice (ヒト肝細胞キメラマウスにおけるジェノタイプ1b型C型肝炎ウイルス感染性クローンの確立)
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	白木 伸明 しらき のぶあき	Low serum testosterone is associated with atherosclerosis in postmenopausal women undergoing hemodialysis. (閉経後透析患者において血清テストステロン低値は動脈硬化と関連する)
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	谷 千尋 たに ちひろ	Radiation dose reduction at MDCT with iterative reconstruction for the prenatal diagnosis of skeletal dysplasia: Preliminary study using normal fetal specimens (骨系統疾患の出生前診断を目的とするMDCTの逐次近似画像再構成法を用いた被曝低減:正常胎児標本を使用した予備的研究)
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	玉井 俊樹 とよい としき	Mizoribine Ameliorates Renal Injury and Hypertension along with the Attenuation of Renal Caspase-1 Expression in Aldosterone-Salt-Treated Rats. (アルドステロン/食塩投与ラットにおいてミゾリピンは腎臓のカスパーゼ1発現を抑制し、腎障害と高血圧を軽減する)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	宮木 理恵 みやき りえ	Quantitative identification of gastric cancer under magnifying image-enhanced endoscopy (画像強調観察併用拡大内視鏡を用いた胃癌内視鏡画像の定量化の試み) 1. Quantitative identification of mucosal gastric cancer under magnifying endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement. (FICE拡大内視鏡を用いた胃粘膜内癌内視鏡画像の定量化の試み) 2. A computer system to be used with laser-based endoscopy for quantitative diagnosis of early gastric cancer. (レーザー内視鏡による早期胃癌画像の定量的診断のためのコンピュータシステムの開発)

博士課程後期

平成26年5月22日修了

研究科名	専攻名	氏名	論文題目名
保健学研究科	保健学専攻	牧迫 美穂子 まさごこ みほこ	軽度認知機能障害の疑いのある地域高齢者に対する嗅覚認知プログラムの介入効果

博士課程

平成26年9月4日修了

研究科名	専攻名	氏名	論文題目名
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	久保田 益亘 くぼた みつお	Relationship between serum cholesterol efflux capacity and glucose intolerance in Japanese-Americans (日系米人における血清のコレステロール引き抜き能と耐糖能異常との関連)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	正路 晃一 しょうじ こういち	Restoration of fibroblast growth factor receptor 2IIIb enhances the chemosensitivity of human prostate cancer cells. (前立腺癌細胞におけるFGFR2IIIbの発現回復は化学療法感受性を増強する)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	曹 麗麗 そう りり	A novel ATM/TP53/p21-mediated checkpoint only activated by chronic γ -irradiation (持続性 γ 線被曝で特異的に活性化されるATM/TP53/P21を介したチェックポイント機構)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	西淵 いくの にしぶち いくの	Reorganization of damaged chromatin by the exchange of histone variant H2A.Z-2 (ヒストンバリエントH2A.Z-2の交換反応による損傷クロマチンの構造変換)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	村上 英介 むらかみ えいすけ	Ultradeep sequencing study of chronic hepatitis C virus genotype 1 infection in patients treated with daclatasvir, peginterferon, and ribavirin. (ダクラタスビル併用ペグインターフェロン、リバビリン療法を施行されたジェノタイプ1型C型肝炎患者に対する次世代シーケンサを用いた解析)

大学院修了者一覧

博士課程

平成26年9月4日修了

研究科名	専攻名	氏名	論文題目名
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	ゆくたけ まさのぶ 行武 正伸	Timing of radiological improvement after steroid therapy in patients with autoimmune pancreatitis. (自己免疫性膵炎におけるステロイド投与後の画像改善の時期についての検討)

博士課程前期

平成26年9月25日修了

研究科名	専攻名	氏名	論文題目名
医歯薬学総合研究科	薬科学専攻	なかつ かなこ 中津 佳菜子	小胞体ストレス改善を目指した人工ペプチドの創製
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	もりやま のぶあき 森山 信彰	論文に代え、QE (博士論文研究基礎力審査) 合格

博士課程

平成26年9月25日修了

研究科名	専攻名	氏名	論文題目名
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	あさだ りえ 浅田 梨絵	The endoplasmic reticulum stress transducer OASIS is involved in the terminal differentiation of goblet cells in the large intestine. (大腸杯細胞の最終分化における小胞体ストレスセンサー OASIS の役割)
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	かたやま けいじろう 片山 桂次郎	Multiple factors predict the risk of spinal cord injury after the frozen elephant trunk technique for extended thoracic aortic disease. (広範囲胸部大動脈疾患に対するFrozen elephant trunk法における術後脊髄障害発症の危険因子についての検討)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	こうりき あきひろ 郷力 昭宏	A novel protein, CHRONO, functions as a core component of the mammalian circadian clock. (哺乳類概日リズムにおける新規時計遺伝子CHRONOの機能解析)
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	どお ふい しょうん Do Huy Son	High prevalences of hepatitis B and C virus infections among adults living in Binh Thuan province, Vietnam (ベトナムにおけるHBV・HCV感染に関する血清疫学的研究：特にHBV水平感染に関する考察)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	ヴェロニカ・サイニク・ロナルド Veronica Sainik Ronald	The improved performance of mesenchymal stem cell cultures by fibronectin and mixed self-assembled monolayers under serum-free conditions (無血清培養下でのフィブロネクチンと混合自己組織化単分子膜による間葉系幹細胞培養系の性能改善)
医歯薬学総合研究科	創生医科学専攻	クング・ラトビサル Khung Rathvisal	An in vitro study on the usefulness of LL37 as a pulp capping material (覆髄剤としてのLL37の有用性に関する基礎的研究)
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	おおばやし たいじ 大林 泰二	初期研修歯科医の省察能力教育に関する検討 —ポートフォリオ分析を中心にして—
医歯薬学総合研究科	展開医科学専攻	メガ・モハリーヨ・プテリ Mega Moeharyono Puteri	Factors involved in transmission of <i>Streptococcus mutans</i> (ミュータンスレンサ球菌の伝播因子に関する研究)

博士課程後期

平成26年9月25日修了

研究科名	専攻名	氏名	論文題目名
医歯薬学総合研究科	薬学専攻	ちよう ふあんふあん 張 芳芳	The role of connexin43-gap junction in rat spinal astrocytes for the regulation of neuropathic pain (神経因性疼痛に対する脊髄アストロサイトconnexin43-gap junctionの役割に関する研究)
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	いしい けい 石井 圭	Sympathetic vasodilatation in skeletal muscle during voluntary exercise and motor imagery in humans. (ヒト随意運動時および運動イメージ中の交感神経性骨格筋血管拡張)
保健学研究科	保健学専攻	おかだ まさひろ 岡田 正浩	Effects of outdoor temperature on changes in physiological variables before and after lunch in healthy women (健康な女性における昼食前後の生理的変化と外気温の影響)

平成26年度文部科学省科学研究費(補助金分)採択一覧

(注) 所属欄の(医)は医学分野、(歯)は歯学分野、(薬)は薬学分野、(保)は保健学分野を示す。

基盤研究(A)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
小胞体ストレス応答による生体制御の分子基盤解明	医歯薬保健学研究院(医)	教授	今泉 和則	11,800,000
新規細胞間コミュニケーション因子であるエクソソームによる組織再生機構の解明	医歯薬保健学研究院(医)	教授	越智 光夫	9,500,000
国際共同研究による間質性肺炎の新規バイオマーカーの開発と創薬の試み	医歯薬保健学研究院(医)	教授	河野 修興	5,300,000
若齢期放射線被曝による晩発障害に関する社会医学的研究	原爆放射線医学研究所	教授	大瀧 慈	8,600,000
遺伝学的アプローチによる小脳機能障害の解明	原爆放射線医学研究所	教授	川上 秀史	13,500,000
小児肝がん研究グループによるアジア地域の小児肝がん調査と国際共同研究基盤整備	自然科学研究支援開発センター	教授	楡山 英三	8,700,000
ゲノミクスとセロミクスを用いた小児腫瘍の分子標的探索—がん幹細胞を標的として—	自然科学研究支援開発センター	教授	楡山 英三	11,000,000

基盤研究(B)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
微小重力環境を用いた下垂体幹細胞の培養技術の開発—人工下垂体への応用を目指して	医歯薬保健学研究院(医)	教授	栗栖 薫	2,800,000
抗がん剤・耐性克服剤開発のためのタイ国産植物の調査・試料収集と薬効の科学的検証	医歯薬保健学研究院(薬)	教授	高野 幹久	3,400,000

研究活動スタート支援

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
血管誘導能に優れた未分化間葉系幹細胞の骨再生技術の確立と顎閉鎖治療への展開	医歯薬保健学研究院(歯)	助教	鷺見 圭輔	700,000
iPS細胞を用いた髄・靭帯細胞への分化誘導系の確立	医歯薬保健学研究院(歯)	特任助教	吉本 由紀	1,100,000
ケミカルジュネティクスを基盤とした生体活性物質のメカニズム解析法の確立	医歯薬保健学研究院(薬)	助教	山野 喜	1,000,000
骨壊死に対するmicroRNA導入骨髄単核球細胞を用いた血管・骨再生に関する研究	病院(医)	助教	庄司 剛士	500,000
ヒト化異種糖鎖欠損免疫不全マウスを用いた抗体関連拒絶反応機構の解明	病院(医)	医科診療医	田原 裕之	1,000,000
bFGF・ポリリン酸結合型ダブルプロセッシング複合体の開発	病院(歯)	歯科診療医	梶原 志穂	1,500,000
ユビキチンリガーゼ阻害剤を用いた口腔癌に対する分子標的治療薬の開発研究	病院(歯)	歯科診療医	坂上 泰士	1,100,000
口腔扁平上皮癌細胞におけるインテグリンβ6の蛋白翻訳後修飾とその機能解析	病院(歯)	歯科診療医	藤井 隆彦	1,100,000
単層無血清培養系での鎖骨頭蓋異形成症歯髄由来iPS細胞の樹立および細胞特性解析	病院(歯)	歯科診療医	向笠 英恵	1,100,000
機能的アモロゲンペプチドによる歯周組織代謝活性機構の解明と歯根吸収予防への応用	病院(歯)	歯科診療医	吉見 友希	1,000,000
ペルオキシソーム酵素の新規変異によるミトコンドリア異常を介した神経細胞死の機構	原爆放射線医学研究所	特任助教	松田 由喜子	1,100,000

新学術領域研究

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
大脳皮質神経回路の生後発達に関わるメカニズムの解明	医歯薬保健学研究院(医)	教授	橋本 浩一	4,000,000
がん微小環境ネットワークにおける細胞外小胞エクソソームの機能解明	医歯薬保健学研究院(薬)	教授	田原 栄俊	4,300,000
トップダウンリン酸化プロテオミクスを指向したアフィニティー磁気ビーズの創出	医歯薬保健学研究院(薬)	准教授	木下 英司	4,100,000
銅輸送タンパク質キャリアーを用いたチロシナーゼ反応機構の解明	医歯薬保健学研究院(薬)	准教授	的場 康幸	2,800,000
MDS原因遺伝子の同定と解析を通じた細胞分化制御システムの解明	原爆放射線医学研究所	教授	稲葉 俊哉	22,400,000
オプチュアリン遺伝子異常による脳内環境の変化と神経変性の関わり解明	原爆放射線医学研究所	教授	川上 秀史	15,700,000
造血幹細胞の自己複製と分化の誘導を掛け分ける分子基盤	原爆放射線医学研究所	教授	瀧原 義宏	4,600,000
ゲノム修復における動的クロマチン構造変換	原爆放射線医学研究所	教授	田代 聡	4,200,000
キネシン分子が制御するシリア形成と中心小体接着の分子機構	原爆放射線医学研究所	教授	松浦 伸也	4,500,000
Geminin発現量を標的とした白血病幹細胞制御法の開発への基盤研究	原爆放射線医学研究所	准教授	安永 晋一郎	3,000,000
非典型ポリコム群MBLR複合体による減数分裂遺伝子のエピジェネティック制御	原爆放射線医学研究所	特任准教授	遠藤 充浩	3,600,000

平成26年度文部科学省科学研究費(基金分)採択一覧

基盤研究 (C)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
細胞運動/増殖の制御による軸骨格の地域特異的形態形成: 胚操作および培養実験系	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	青山 裕彦	1,400,000
CTにおける放射線被ばくのDNA損傷に対する影響の検討	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	粟井 和夫	1,200,000
悪性高熱症の発症予防に関する実験的研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	河本 昌志	1,200,000
母乳中の飽和脂肪酸によるIgE産生、およびアトピー性皮膚炎発症機構の解析	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	菅野 雅元	1,500,000
眼球的剛性は緑内障の危険因子か	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	木内 良明	1,300,000
メタボリック症候群を基盤とする非虚血性慢性心不全の病態解明と疾患概念の確立	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	木原 康樹	1,300,000
自然免疫を抑制するウイルス蛋白質の構造と作用機構の解析	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	坂口 剛正	1,500,000
胸膜肉腫型中皮腫の網羅的遺伝子発現解析に基づく病理鑑別診断への応用	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	武島 幸男	1,900,000
地域と出生年を考慮した肝がん死亡の経年推移と将来予測に関する国際数理疫学研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	田中 純子	300,000
前立腺癌の神経内分泌分化に関わる新規バイオマーカーの同定と診断・治療への応用	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	松原 昭郎	800,000
動脈硬化の分子機序に基づいた動脈瘤形成機構の解明	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	吉栖 正生	1,000,000
ヒト肝細胞キメラマウスとパキュロウイルスを用いた遺伝病モデルの創生	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	阿部 弘美	1,400,000
自然免疫系によるウイルス感染認識の実際とその回避	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	入江 崇	1,300,000
胃分化型腺癌における基底膜接着幹細胞の同定および生物学的意義と胃型腸型形質発現	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	大上 直秀	1,500,000
認知行動療法の神経科学的基盤の解明	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	岡本 泰昌	1,300,000
ユビキチンリガーゼ破たんによる神経変性疾患発症機構	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	金子 雅幸	1,200,000
癌・間質相互作用を標的とした胃癌転移に対する新しい治療法の開発	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	北台 靖彦	1,200,000
miRNAを含むエクソソームを用いた骨腫瘍治療への応用	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	下瀬 省二	1,200,000
鼻副鼻腔における一酸化窒素のバイオモニタリングによる好酸球性炎症の解析	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	竹野 幸夫	700,000
3次元ゲル培養法を応用した角膜神経誘導法の開発	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	近岡 泰一郎	700,000
新規薬物精製用シリカモノリスの開発と法医鑑定試料からの系統的一斉抽出法の研究	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	奈女良 昭	1,500,000
胆管癌の抗癌剤代謝関連酵素発現と感受性解析による個別化治療の確立	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	村上 義昭	400,000
心臓脂肪組織における細胞性免疫異常と冠動脈粥状硬化	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	山本 秀也	1,800,000
胆管癌における神経周囲浸潤と関連分子の発現モデル研究	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	上村 健一郎	1,500,000
心臓前駆細胞の機能解析	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	小久保 博樹	1,000,000
大腸癌病変の発症過程における分子病理学的制御の解明と鑑別診断への応用	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	仙谷 和弘	1,300,000
新生児スクリーニングで見発されるMCAD欠損症例の急性発症リスク評価に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	但馬 剛	800,000
GPR3の神経分化メカニズム解析と脳虚血に対する新規神経前駆細胞移植療法への応用	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	田中 茂	1,300,000
CD24発現制御による胃癌制癌療法への応用	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	田邊 和照	1,400,000
メタボリック症候群と前立腺癌に与えるFGFの分子機構解明と新たな治療戦略確立	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	亭島 淳	1,100,000
放射線性心毒性低減を目指す食道癌への超短時間強度変調放射線治療技術の開発	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	村上 祐司	800,000
造血幹細胞・iPS細胞由来TRAIL陽性NK細胞による肝癌免疫細胞療法の基礎研究	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	田中 友加	1,300,000
プロリン異性化酵素Pin1と肥満発症との関係解明及び創薬への展開	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	中津 祐介	1,200,000
Optneurinによる筋萎縮性側索硬化症発症機序の解明	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	永野 義人	1,200,000
膝前十字靭帯再建術後に早期スポーツ復帰を行うための新しい多角的評価体系	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	中前 敦雄	2,000,000
細胞保護的ミクログリアの選別・機能解析と神経疾患治療への発展	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	秀 和泉	1,200,000
インフルエンザ肺炎の重症化メカニズムの解明~その治療を目指して~	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	富士 雅也	1,500,000
糖尿病やがんの発症・進行におけるNedd4-IRS複合体の乖離/形成の意義	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	福嶋 俊明	1,400,000
慢性痒疹病態における好塩基球と血液凝固反応の役割解明	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	柳瀬 雄輝	1,500,000
悪性脳腫瘍に対するVEGF阻害剤投与時の画像診断法の確立	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	山崎 文之	1,000,000
地域枠出身医師の進路に関するコホート研究	医歯薬保健学研究院 (医)	寄附講座准教授	松本 正俊	800,000
確率共鳴理論から開発した触覚が向上する内視鏡外科デバイスの臨床応用	医歯薬保健学研究院 (医)	特任講師	恵木 浩之	1,300,000
物体の外観の能動的探索による物体認知促進メカニズムの解明	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	笹岡 貴史	1,200,000
類洞内皮細胞を利用した食物アレルギーの予防法の開発	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	田中 暁生	1,300,000
中性子捕捉療法法のホウ素担体としての標的アデノウイルスベクターの確立	医歯薬保健学研究院 (医)	研究員	濱 聖司	1,600,000
嚥下時の口腔内圧変化による臨床的嚥下能力診断システムの確立	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	天野 秀昭	900,000
アトピー性皮膚炎感染黄色ブドウ球菌の病原性基盤	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	菅井 基行	1,200,000
歯を舐める口腔機能訓練療法の開発	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	津賀 一弘	1,000,000
形態付与可能な再生3要素複合体ビーズの重度破壊歯周組織再生における有用性	医歯薬保健学研究院 (歯)	准教授	柴 秀樹	1,500,000
生体にやさしい歯冠用コンポジットレジン複合型ジルコニアクラウンの臨床応用に向けて	医歯薬保健学研究院 (歯)	准教授	下江 宰司	1,000,000
骨芽細胞-連通多孔体ハイドロキシアパタイト複合体による顎骨再建治療の確立	医歯薬保健学研究院 (歯)	准教授	武知 正晃	1,400,000
個別力学的シミュレーションに基づいた補綴装置デザインの最適化	医歯薬保健学研究院 (歯)	准教授	田地 豪	1,900,000
ストレス応答性TMEM16E安定化と局在化による迅速な膜修復機構の解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	准教授	飛梅 圭	2,300,000
歯周病原細菌感染による非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)病態増悪機構の解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	准教授	宮内 陸美	1,200,000
糖尿病患者における歯内疾患悪化メカニズムの解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	内田 雄士	1,200,000

平成26年度文部科学省科学研究費(基金分)採択一覧

基盤研究 (C)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
新規 EMT 関連遺伝子 MTDH が誘導する口腔扁平上皮癌の浸潤機構の解析	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	小野 重弘	1,300,000
唾液腺の管腔構造形成・維持における Hippo シグナル伝達経路の機能解析	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	北川 道憲	1,200,000
口腔癌細胞自身が発現する VEGF 受容体シグナルを標的とした新しい治療法の開発研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	小泉 浩一	1,000,000
無菌歯者に応用する単独インプラント支持オーバーデンチャーの治療方針の作成	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	是竹 克紀	1,400,000
ヒト口腔扁平上皮癌幹細胞における GSK3 β の発現及び機能解析	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	重石 英生	1,300,000
歯周組織におけるセマフォリンの発現と病態との関連	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	島津 篤	1,000,000
ドパミン受容体サブタイプの選択的リガンドを応用した新しい全身麻酔法の開発	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	清水 慶隆	800,000
trkB シグナルを介した炎症制御メカニズムの解明と歯周炎治療への展開	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	武田 克浩	1,300,000
高付加型ポリリン酸を用いたインプラント周囲炎骨欠損に対する再生療法	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	土井 一矢	1,300,000
機能的抗菌作用を有する歯科材料の研究・開発	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	野村 雄二	900,000
$\alpha 2$ -アンチプラスミンの Naked DNA 直接注入法による口腔癌遺伝子治療の開発	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	浜名 智昭	1,600,000
歯髄で高発現するホメオボックス遺伝子 MSX ファミリーの機能解析	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	藤本 勝巳	1,100,000
遺伝子改変マウスを用いた TMEM16E 分子の機能の解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	水田 邦子	1,200,000
乳癌細胞由来 Klotho 下流因子による骨・歯の石灰化調節についての研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	南崎 朋子	1,400,000
Bone lining cells を標的としたエピゲノム制御による骨再生への展開	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	吉岡 広陽	1,300,000
海洋生物由来新規生理活性物質の探索とヒト iPS 細胞を用いた創薬応用への基礎的研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	吉岡 幸男	1,700,000
Toll 様受容体に注目した三叉神経領域の病態発症メカニズムの解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	渡邊 峰朗	1,300,000
消光性リン酸基結合タグ分子を用いたリン酸化シグナルの定量解析法	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	小池 透	1,400,000
歯周病菌の病原性を不活化する歯由来物質の構造と機能	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	杉山 政則	1,200,000
抗原の消化管透過性から見た食物アレルギー発症機序の解明	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	松尾 裕彰	1,800,000
マダガスカル伝承薬に由来する生物活性化合物の探索	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	松浪 勝義	1,700,000
標的臓器の治療目標達成確率を指標とした抗菌剤治療の最適化法の確立	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	森川 則文	2,300,000
抗菌薬併用時の標的臓器 PK モデル解析と微生物学的 PD 評価に基づく感染治療の最適化	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	猪川 和朗	900,000
抗結核薬 D-サイクロセリンの生合成遺伝子を利用した創薬研究	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	熊谷 孝則	1,300,000
[1,n]-双極子活性種の発生の開発と合成反応への展開	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	佐々木 道子	1,300,000
脊髄 gap junction 機能低下によって惹起される慢性疼痛の発現機序の解明	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	森岡 徳光	1,300,000
小胞体機能制御による生活習慣病治療戦略	医歯薬保健学研究院 (薬)	講師	細井 徹	1,300,000
薬局・在宅における濃縮血マイクロ TDM の実践：ゲノム薬理学的アプローチの基盤構築	医歯薬保健学研究院 (薬)	助教	池田 佳代	1,100,000
広域分子量タンパク質群のリン酸化動態を追跡できるリン酸基親和性電気泳動ゲルの開発	医歯薬保健学研究院 (薬)	助教	木下 恵美子	1,600,000
ツメガエル発達過程における化学物質の動態変化と環境毒性影響	医歯薬保健学研究院 (薬)	助教	佐能 正剛	1,200,000
薬物による肺胞上皮細胞障害と II 型-I 型分化転換および上皮間葉転移との関連解析	医歯薬保健学研究院 (薬)	助教	湯元 良子	1,300,000
植物乳酸菌による口腔内バイオフィーム形成阻害の分子機構の解明	医歯薬保健学研究院 (薬)	特任講師	野田 正文	1,400,000
膝前十字靭帯損傷のハイリスク選手に対する 90 度側方カッピング動作の分析	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	浦邊 幸夫	200,000
プロジェクト学習とポートフォリオを活用した能力獲得型助産教育方法の開発	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	大平 光子	1,500,000
男性労働者のソーシャル・キャピタルに注目した地域から地域に繋がる健康支援の研究	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	小林 敏生	1,000,000
脳科学的根拠のある利き手・非利き手別リハビリテーションプログラムの開発	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	砂川 融	800,000
病児保育への障害児のレスパイトケア併合による小児の利益及び就労と育児の調和推進	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	祖父江 育子	1,700,000
変形性膝関節症の疼痛はラテラルラストが要因か？疼痛を予防する新型装具の開発	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	出家 正隆	900,000
保健師の家族面接力を高める ICT 教育プログラムの開発	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	中谷 久恵	1,700,000
高齢者の活動的で生きがいのある生活を支援する心理・社会的アプローチの構築	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	花岡 秀明	1,400,000
がん化学療法に関連した認知機能障害に対する教育および速度フィードバック療法の効果	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	宮下 美香	1,600,000
新たな呼吸リハビリテーションを展開するために必要な唾液酸化ストレス指標の確立	医歯薬保健学研究院 (保)	准教授	関川 清一	900,000
看護実践能力育成モデルの構築：先行・帰結因子の探求	医歯薬保健学研究院 (保)	准教授	高瀬 美由紀	700,000
進行がん患者の自覚的負担感と対処方法に着目した在宅支援の研究	医歯薬保健学研究院 (保)	講師	大えき 美樹	600,000
ヒトの歩行運動における大脳皮質運動野の役割～筋内・筋間コヒーレンス解析を用いて～	医歯薬保健学研究院 (保)	講師	高橋 真	1,500,000
母親の搾乳量に応じた高カロリー母乳採取法の開発と評価	医歯薬保健学研究院 (保)	講師	藤本 紗央里	700,000
膝関節回旋角度計の開発～膝前十字靭帯損傷による回旋不安定性の精密計測～	病院 (医)	教授	木村 浩彰	200,000
滑膜線維芽細胞の脂肪分化誘導における上皮間葉移行分子機序の解明	病院 (医)	教授	杉山 英二	1,200,000
劣化脂質による胆道がん発症機構とその制御に関する検討	病院 (医)	教授	田妻 進	1,100,000
間葉系幹細胞を用いた腎線維化の抑制：無血清培地の検討	病院 (医)	教授	正木 崇生	1,500,000
ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた新たな末梢神経再生促進療法の開発	病院 (医)	教授	横田 和典	1,500,000
骨髄間葉系幹細胞導入(骨穿孔術)による変形性膝関節症治療の確立	病院 (医)	准教授	安達 伸生	1,400,000
Noda epileptic rat を用いた迷走神経刺激療法作用機序解明	病院 (医)	講師	飯田 幸治	3,000,000
放射線誘発性動脈硬化性疾患の発症メカニズムにおける DNA 損傷応答の役割	病院 (医)	講師	石田 隆史	1,800,000
術中判断を可能にする心房細動外科治療時の電気生理診断法の確立と低侵襲術式の開発	病院 (医)	講師	今井 克彦	500,000

平成26年度文部科学省科学研究費(基金分)採択一覧

基盤研究 (C)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
新規 Wnt5a 関連細胞接着因子 ALCAM を標的とした新しい乳癌治療法の開発	病院 (医)	講師	角舎 学行	1,400,000
肺・肝臓癌に対する機能的画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	病院 (医)	講師	木村 智樹	1,400,000
鏡視下腫瘍広範切除のための新しい蛍光バイオイメージングの開発	病院 (医)	講師	久保 忠彦	800,000
各種老化因子の制御による加齢性内耳障害の予防・治療法開発の分子生物学的研究	病院 (医)	講師	工田 昌也	1,200,000
異時相画像データおよび非剛体変形統合法を用いた低線量冠動脈 CT の開発	病院 (医)	講師	立神 史稔	1,300,000
脳血管性うつ病の神経回路網の異常と抑うつ気分、アパシーとの関連	病院 (医)	講師	山下 英尚	1,000,000
光を用いた離断性骨軟骨炎に対する新たな画像診断システムの開発	病院 (医)	助教	石川 正和	1,100,000
間葉系幹細胞による肝臓内免疫細胞の脾臓グラフト傷害抑制メカニズムの解明	病院 (医)	助教	石山 宏平	1,400,000
ヒト化マウスを用いた同種移植における抗ドナー抗体産生制御法の開発	病院 (医)	助教	井手 健太郎	1,500,000
DAA 耐性型 HCV に対する治療法の開発	病院 (医)	助教	今村 道雄	1,200,000
大腸癌肝転移に対する新規分子標的治療法の開発	病院 (医)	助教	小林 剛	1,300,000
胸部動脈瘤ステントグラフト術後の遅延性対麻痺予測法と治療法の開発	病院 (医)	助教	高崎 泰一	1,900,000
臨床用 CT を用いた有限要素法による骨脆弱性評価に向けた横断的・縦断的研究	病院 (医)	助教	高須 深雪	1,600,000
トレハロースと微小重力下で培養した幹細胞による脊髄神経の保護と再生	病院 (医)	助教	高橋 信也	2,900,000
分泌型マイクロ RNA による血管新生を基軸とした運動器損傷の新たな治療戦略	病院 (医)	助教	中佐 智幸	1,100,000
脳磁図を用いた運動、感覚障害の客観的評価法の開発	病院 (医)	助教	中西 一義	1,300,000
セマフォリン 3A 遺伝子変異と関連する特発性心室細動発症の分子病態メカニズムの解明	病院 (医)	助教	中野 由紀子	2,300,000
ヒト脾臓における転移と抗癌剤耐性獲得メカニズム：多光子励起蛍光顕微鏡による解析	病院 (医)	助教	橋本 泰司	1,100,000
AU-rich element 依存性 mRNA 制御と調節リウマチ滑膜細胞機能変換	病院 (医)	助教	山崎 聡士	1,300,000
消化管内視鏡画像解析による客観的指標の構築と診断支援システムへの応用	病院 (医)	助教	吉田 成人	1,000,000
Non-dipper 型高血圧の発症における時計遺伝子の役割	病院 (医)	特任助教	中島 歩	1,200,000
大規模学習ニューラルネットワークを用いた低線量 CT 画像の画質修復	病院 (医)	医科診療医	福本 航	1,200,000
患者の地域・コミュニティ (異文化) 的背景に基づく医療コミュニケーション教育	病院 (歯)	教授	小川 哲次	1,400,000
紫外線によるアパタイトの高機能ナノバイオ界面制御法の開発	病院 (歯)	講師	阿部 泰彦	1,200,000
睡眠時・覚醒時ブラキシズムと心理社会的因子および TMD の共分散構造分析	病院 (歯)	講師	安部倉 仁	1,000,000
睡眠時無呼吸症候群における新しい口腔内装置の包括的臨床展開	病院 (歯)	講師	上田 宏	200,000
唾液腺腫瘍の生物学的態度に関わる因子の病理学的、分子生物学的解析	病院 (歯)	講師	小川 郁子	1,200,000
磁場を利用した骨髄間葉系幹細胞の凍結保存法の確立	病院 (歯)	講師	加来 真人	1,200,000
Wnt シグナルを標的とした生体由来成分を用いた直接覆髄材の開発	病院 (歯)	講師	藤井 理史	900,000
イルソグラジンマレイン酸による歯肉上皮細胞機能の分子制御メカニズムの解明	病院 (歯)	講師	藤田 剛	1,500,000
口腔顔面部神経障害性疼痛の発症機序の解明とその治療法の確立	病院 (歯)	講師	吉田 充広	1,400,000
口腔粘膜細胞から誘導されるヘムオキシゲナーゼ-1 の機能とカンジダ症における意義	病院 (歯)	助教	太田 耕司	1,200,000
ヒト骨髄由来間葉系幹細胞を用いた安全・安心な細胞治療を行うための基盤整備研究	病院 (歯)	助教	岡本 康正	1,600,000
F-spondin による歯槽骨吸収抑制に関する検討	病院 (歯)	助教	北川 雅忠	1,000,000
口腔癌の浸潤における細胞間相互作用の解明	病院 (歯)	助教	島末 洋	800,000
HBp17 / FGFBP 蛋白を標的とした口腔癌の分子標的診断・治療法の開発研究	病院 (歯)	助教	新谷 智章	800,000
NK 細胞活性化受容体リガンドをターゲットとした口腔癌に対する個別化治療の開発	病院 (歯)	助教	谷 亮治	900,000
口腔粘膜細胞の DNA 認識機構の解明と口腔粘膜炎症の調節	病院 (歯)	助教	西 裕美	1,400,000
薬物徐放制御能を有するハイブリッド生体材料の開発	病院 (歯)	助教	二宮 嘉昭	1,500,000
空間データにおけるセミパラメトリックな変化係数の推測と生存時間データへの応用	原爆放射線医学研究所	准教授	佐藤 健一	1,100,000
DNA 脱メチル化剤による翻訳効率向上が造血細胞の分化を促進するメカニズムの解明	原爆放射線医学研究所	准教授	松井 啓隆	1,200,000
メタボローム解析による悪性胸膜中皮腫細胞の低酸素応答機構の解明	原爆放射線医学研究所	准教授	宮田 義浩	1,200,000
造血幹細胞の自己複製と分化の制御機構の解明とその再生医療への応用のための基盤研究	原爆放射線医学研究所	准教授	安永 晋一郎	1,400,000
クロマチン変換因子 INO80 による染色体転座形成の制御	原爆放射線医学研究所	講師	孫 継英	1,800,000
microRNA 制御を応用した新しい食道癌化学放射線療法の開発	原爆放射線医学研究所	講師	檜原 淳	1,200,000
乳腺微小環境から見た低線量・低線量率放射線による乳がんリスク解明	原爆放射線医学研究所	助教	飯塚 大輔	1,200,000
造血器腫瘍発症における疾患関連 EED 遺伝子変異体の機能解析	原爆放射線医学研究所	助教	上田 健	1,500,000
原爆被爆直後から空白の 5 年間における死亡危険度の解明	原爆放射線医学研究所	助教	大谷 敬子	1,600,000
異なる放射線照射条件と多能性幹細胞を用いた次世代 DNA 損傷ストレス影響研究	原爆放射線医学研究所	助教	河合 秀彦	1,500,000
白血病モデルマウスを用いた放射線発がんの分子機構解明と年齢依存性の解明	原爆放射線医学研究所	助教	笹谷 めぐみ	800,000
糖尿病による心血管障害における ROCK の役割：基礎から臨床へ	原爆放射線医学研究所	助教	野間 玄督	1,200,000
SAGE 法による新たな消化器腫瘍幹細胞特異的遺伝子の同定とその機能解析	原爆放射線医学研究所	助教	浜井 洋一	1,200,000

平成26年度文部科学省科学研究費(基金分)採択一覧

若手研究 (B)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
黄砂による健康影響の東アジア地域における地理的差異の解明	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	鹿嶋 小緒里	1,200,000
破骨細胞分化成熟過程における小胞体膜タンパク質 Luman の機能解析	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	金本 聡自	1,600,000
組み換え修復関連遺伝子のノックアウト細胞株を用いた遺伝毒性物質の評価に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	鈴木 哲矢	1,500,000
細胞内局在の特異的な IKK β を介したネクロシスの制御と炎症と発がんの連関	医歯薬保健学研究院 (医)	助教	土谷 佳弘	1,700,000
エイコサペンタエン酸による GPR120 を介したベージュ細胞誘導効果の研究	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	大野 晴也	1,200,000
ステロイド様物質 GITRL を介した癌細胞による NK 細胞免疫回避機構の解明と制御	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	大平 真裕	1,500,000
構造生物学的アプローチによるウイルスタンパク質の自然免疫阻害機構の解明	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	小田 康祐	1,600,000
霊長類の胸郭・前肢帯の骨格形態と立体配置：ヒト上科の運動適応の解明	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	加賀谷 美幸	400,000
親の社会階層と乳児・幼児期の子どもの健康と発達との関係	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	加藤 承彦	700,000
仮想現実への自己投影が身体認知と感情反応に与える影響	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	金山 範明	1,900,000
iPS 細胞を用いた好中球減少症の病態解析	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	唐川 修平	1,400,000
In vivo パッチクランプ法による発達期シナプス刈り込みに関わる活動実態の解明	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	河村 吉信	700,000
うつ病における血中バイオマーカーの探索	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	瀬川 昌弘	600,000
肺動脈性肺高血圧症早期診断マーカーの同定	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	土肥 由裕	900,000
親の養育態度が子どもの社会脳の発達に及ぼす生物学的基盤と世代間連鎖	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	西川 里織	1,500,000
ヒト染色体異常に基づく染色体改変モデルマウスの統合的解析	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	野村 淳	1,500,000
個人の特性に応じたロボット支援手術トレーニング法の開発	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	服部 稔	800,000
ダイナミック心臓 CT 画像を用いた冠動脈の血流予備量比の推定	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	楳垣 徹	1,000,000
精神疾患に関わる脳特異的ノンコーディング RNA の機能解析	医歯薬保健学研究院 (医)	特任助教	古米 亮平	1,400,000
食道癌に対する強度変調放射線治療と画像誘導技術を用いた高精度放射線治療体系の構築	医歯薬保健学研究院 (医)	寄附講座助教	土井 歆子	900,000
骨肉腫に対するテロメラーゼ阻害剤を用いた新たな薬物療法	医歯薬保健学研究院 (医)	寄附講座助教	藤森 淳	500,000
小胞体ストレスセンサー BBF2H7 による細胞増殖制御機構の解析	医歯薬保健学研究院 (医)	研究員	張 エキ宙	1,500,000
食細胞シグナル伝達異常症由来 iPS 細胞の樹立と骨リモデリングの解析	医歯薬保健学研究院 (医)	研究員	津村 弥来	1,300,000
新規分子が制御する血液凝固、血管修復メカニズムの解明研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	浅野 智志	1,400,000
口腔癌における癌幹細胞と腫瘍間質内間葉系幹細胞の細胞間ネットワークの機能解析	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	石田 康隆	900,000
関節リウマチ発症における周病原細菌由来シトルリン化酵素 PAD の影響	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	應原 一久	1,100,000
小児齲蝕の新たな予防法開発へ向けたりスク増悪因子の解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	大原 紫	1,600,000
黄色ブドウ球菌新規転写制御因子 SptA による病原性因子制御機構に関する研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	加藤 文紀	1,600,000
レーザーによる菌の移動時の菌周組織誘導能の探索と臨床応用	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	國松 亮	1,600,000
インテグリン結合 RGD 配列の近傍切断によるシグナル増強と菌叢組織創傷治癒誘導	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	鈴木 茂樹	1,500,000
マイクロ RNA を介した硬組織ネットワーク機構	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	竹井 悠一郎	1,600,000
3DS を用いた全身感染予防プログラムの臨床的評価および作用機序の解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	新里 法子	1,500,000
PRIP を介したオートファジーによる感染細菌排除機構の解明	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	原田 佳枝	1,500,000
ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群由来黄色ブドウ球菌の病原性発現機序に関する研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	久恒 順三	1,600,000
インテグリンの機械的負荷受容メカニズムの解明と、阻害剤を用いた PCR 予防法の確立	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	廣瀬 尚人	1,600,000
P. gingivalis 菌性感染による NASH 病態増悪における TLR2 の役割	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	古庄 寿子	1,500,000
ストレス脆弱性形成機構としてのミトコンドリアのエピジェネティクスに関する研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	山脇 洋輔	1,200,000
美白薬の創薬研究を目指した未利用植物資源からの新規機能性物質の探索	医歯薬保健学研究院 (薬)	講師	杉本 幸子	600,000
線維芽細胞増殖因子 (FGF) の新規薬理作用としての抗うつ効果発現機序の解析	医歯薬保健学研究院 (薬)	助教	中島 一恵	1,100,000
運動負荷や NSAIDs の服用による食物抗原の吸収と食物アレルギー発症への影響解析	医歯薬保健学研究院 (薬)	助教	横大路 智治	2,100,000
発達障害者の「運動の不器用さ」解明のための定量的評価法の開発	医歯薬保健学研究院 (保)	講師	車谷 洋	700,000
心疾患に伴う骨格筋の弱体化予防に対する高気圧・高濃度酸素の効果検証と作用機序の解明	医歯薬保健学研究院 (保)	講師	藤田 直人	1,000,000
変形性膝関節症患者の歩行はいかなる関節運動と筋活動の協調性により成り立っているか	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	阿南 雅也	1,000,000
高齢者における筋血流量を用いた新しい運動イメージ評価法の確立	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	遠藤 加菜	2,200,000
知覚-運動ループの不一致が痛覚および変化検出機構に及ぼす影響	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	大鶴 直史	700,000
新任保健師の職業アイデンティティ確立に向けた e ラーニング教育システムの開発	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	金藤 亜希子	200,000
円滑な臓器提供を実現するためのオプション提示法の開発	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	新宮 美穂	1,000,000
NICU に入院した子どもをもつ母親への次子妊娠に関する情報提供冊子の開発と評価	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	船場 友木	600,000
全身振動刺激を併用した体幹深部筋強化トレーニング法の構築	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	前田 慶明	900,000
リズムミク下下肢他動運動が中枢運動指令に与える影響-効果的な運動療法を目指して-	医歯薬保健学研究院 (保)	助教	梁 楠	2,100,000
特発性肺線維症急性増悪の人種差に着眼した病態解明と新規バイオマーカー開発	病院 (医)	講師	大下 慎一郎	900,000
ヒト末梢血 CD133 陽性細胞移植を用いた新たな勃起不全治療アプローチの開発	病院 (医)	助教	井上 省吾	1,200,000
I 型肺胞上皮由来の新規特発性肺線維症バイオマーカー RAGE の開発と創薬の試み	病院 (医)	助教	岩本 博志	900,000
アルドステロン産生腺腫を基盤にした新規アルドステロン合成機構の解明	病院 (医)	助教	沖 健司	1,000,000
ATRX/DRXX 遺伝子変異による神経芽腫のテロメア伸長機序と臨床応用	病院 (医)	助教	鬼武 美幸	1,400,000

平成26年度文部科学省科学研究費(基金分)採択一覧

若手研究 (B)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
心外膜下脂肪組織の多面的病的意義の解明 - 画像診断と組織学的解析による検討 -	病院 (医)	助教	北川 知郎	1,500,000
膝組織から膝幹細胞の分離方法の確立と、膝外分泌機能不全に対する治療方法の開発	病院 (医)	助教	近藤 成	1,500,000
乳癌臨床検体を用いた HER2 標的療法効果予測法の開発	病院 (医)	助教	重松 英朗	1,600,000
放射線誘発性末梢神経障害に対する新規治療開発	病院 (医)	助教	四宮 陸雄	600,000
被曝放射線量の血管径への影響と緑内障、加齢黄斑変性症との関係	病院 (医)	助教	竹中 丈二	600,000
肺線維症において骨髄に保存される傷害記憶システムの解明	病院 (医)	助教	中島 拓	1,500,000
一塩基多型が 1 型リアノジン受容体の機能に与える影響についての検討	病院 (医)	助教	原木 俊明	900,000
PTSD における脳由来神経栄養因子の治療効果およびエピジェネティクス解析	病院 (医)	助教	淵上 学	1,200,000
有限要素法モデルによる前胸部ケロイドの生体力学解析	病院 (医)	助教	宮本 純平	1,000,000
慢性蕁麻疹の病態における血液凝固系駆動機序の検討	病院 (医)	助教	森桶 聡	1,300,000
産休・育休中の女性医師による IT を用いた僻地・在宅診療支援	病院 (医)	助教	横林 賢一	1,400,000
腎臓に対する腎動脈閉塞下凍結療法の確立	病院 (医)	助教	吉松 梨香	2,200,000
各種腎臓疾患における無血清培地を用いた間葉系幹細胞の治療効果：臨床応用を目指して	病院 (医)	医科診療医	上野 敏憲	1,300,000
脳磁図データ統一化ツールの開発	病院 (医)	医科診療医	香川 幸太	1,600,000
自閉症スペクトラム児の社会的障害と前頭葉機能に関するイメージングジェネティクス	病院 (医)	医科診療医	梶梅 あい子	1,200,000
Wnt5a 陽性乳癌の薬剤耐性獲得機構の解明と制癌療法への応用	病院 (医)	医科診療医	梶谷 桂子	1,000,000
デジタル PCR 法を応用した非侵襲的小児がん診断法の開発	病院 (医)	医科診療医	栗原 将	1,700,000
門脈圧亢進症 / 肝線維化に対するリポソーム化 Rho キナーゼ阻害剤を用いた治療法	病院 (医)	医科診療医	黒田 慎太郎	1,500,000
先天性血小板減少症の責任遺伝子同定と病態解析	病院 (医)	医科診療医	小林 良行	1,500,000
大腸上皮特異的複合遺伝子改変マウスモデルを用いた大腸癌転移関連遺伝子の探索	病院 (医)	医科診療医	下村 学	1,600,000
肺腺癌の悪性化進展メカニズムの解明	病院 (医)	医科診療医	山北 伊知子	1,100,000
人工呼吸器装着患者へのリハビリテーション展開に必要な新たな酸化ストレス指標の確立	病院 (医)	理学療法士	對東 俊介	1,400,000
機能的 MRI を用いた膝前十字帯損傷患者の大脳固有感覚ネットワーク再構築の研究	病院 (医)	理学療法士	平田 和彦	500,000
ポリコム遺伝子発現制御に着目した歯周組織構成細胞の多方向制御メカニズムの解明	病院 (歯)	助教	岩田 倫幸	1,600,000
間葉系幹細胞集塊 clumps-MSCs による歯周組織再生療法の開発	病院 (歯)	助教	加治屋 幹人	1,500,000
ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に関与する遺伝子の機能解析	病院 (歯)	助教	中川 貴之	1,300,000
薬物性歯肉増殖症動物モデルを用いたメカニズムの解明	病院 (歯)	助教	松田 真司	1,200,000
咬合刺激が歯周組織の血管動態および歯根吸収発現に及ぼす影響の解明	病院 (歯)	助教	本川 雅英	1,600,000
骨質イノベーションを達成するポリリン酸のバイオアクティブ効果	病院 (歯)	助教	森田 晃司	1,900,000
無血清培養系を用いた口腔扁平上皮癌における SP 細胞の分子・生物学的特性解析	病院 (歯)	歯科診療医	伊藤 翼	1,100,000
歯の喪失による学習・記憶能低下の分子生物学的解明	病院 (歯)	歯科診療医	大上 博史	1,400,000
口腔扁平上皮癌の高度悪性化に関与するサイトカイン誘導性 EMT の解析	病院 (歯)	歯科診療医	奥井 岳	1,800,000
多孔質セラミックスにおける骨形成メカニズムの解明と臨床応用への基礎的研究	病院 (歯)	歯科診療医	多田 美里	1,700,000
歯髄細胞が産生する TNF- α 誘導因子の探索	病院 (歯)	歯科診療医	永安 慎太郎	1,500,000
口腔粘膜のウイルス認識機構の解明と口腔粘膜炎症性疾患における意義	病院 (歯)	歯科診療医	福井 暁子	1,700,000
二酸化塩素含有義歯洗浄剤の新開発	病院 (歯)	歯科診療医	堀 智治	1,800,000
ジグリングによる歯根吸収発現機構の解明と GCF を用いた歯根吸収予測法の探索	病院 (歯)	歯科診療医	松田 弥生	1,100,000
三次元培養細胞への機械的刺激と高分子 HA を用いた顎関節症の解明と新規治療法の確立	病院 (歯)	歯科診療医	光吉 智美	2,000,000
遺伝性顎口腔疾患特異的 iPS 細胞を用いた無血清培養系における発症機序解明	病院 (歯)	歯科診療医	山崎 佐知子	1,500,000
Optineurin 変異による ALS 発症メカニズムの分子基盤の解明	原爆放射線医学研究所	助教	大澤 亮介	1,500,000
造血幹細胞と白血病幹細胞の活性制御機構における Geminin の分子機能の解明	原爆放射線医学研究所	助教	大野 芳典	1,500,000
ゲノム編集技術を用いた染色体大領域欠失 AML/MDS モデルマウスの作製	原爆放射線医学研究所	助教	長町 安希子	1,500,000
レーザープロテオミクス技術を用いた肺癌浸潤メカニズムの解明と臨床応用	原爆放射線医学研究所	助教	見前 隆洋	2,000,000
筋萎縮性側索硬化症の発症メカニズムの解明 - オプチニューリンを中心とした新規機序 -	原爆放射線医学研究所	研究員	倉持 真人	900,000
内在性タウの異常蓄積を検出できるヒト大脳皮質ニューロン培養系の作製	原爆放射線医学研究所	研究員	平木 啓子	1,500,000

平成26年度文部科学省科学研究費(基金分)採択一覧

挑戦的萌芽研究

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
近位筋優位遺伝性運動感覚ニューロパチー原因遺伝子産物の発現調節と代謝異常への関与	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	浅野 知一郎	1,700,000
小胞体ストレスセンサーによる細胞間情報伝達機構の解析	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	今泉 和則	1,600,000
肝癌に対する分子標的薬を併用した unlicensed NK 細胞療法の開発	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	大段 秀樹	1,100,000
マイクロ RNA と磁気ターゲティングを併用した難治性骨折の治療戦略	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	越智 光夫	900,000
iPS 細胞とヒト疾患モデルマウスを用いた STAT1 シグナル異常症の病態解析	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	小林 正夫	1,500,000
微小重力培養骨髄間葉系幹細胞と磁性粒子を用いた重症虚血肢再生治療	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	末田 泰二郎	1,700,000
OTC 欠損症のモデル動物作製とその応用	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	茶山 一彰	2,800,000
ヒ素化合物の形態別抽出による新規系統的 GC / MS 分析法の確立	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	長尾 正崇	1,000,000
エクソソーム内 T-UCR コード非翻訳 RNA の胃癌・前立腺癌の診断治療における意義	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	安井 弥	1,600,000
吸収性胆管ステントによる胆管狭窄予防	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	田代 裕尊	900,000
無血清・無フィーダ培養系でのヒト iPS 樹立と胚様体培養法を用いた顎骨・歯胚誘導	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	岡本 哲治	1,600,000
脂肪細胞の分化と脱分化制御の分子基盤解明研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	兼松 隆	1,400,000
ペリオスチンに着目した歯周病分子標的予防法の開発に関する基礎的研究	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	栗原 英見	1,700,000
齶蝕原因菌が生成する新規タンパク複合体デグラドソームの環境適応に果たす役割	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	香西 克之	700,000
Scleraxis の発現を指標とした歯根膜のメカニカルストレス応答の分子機構	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	宿南 知佐	900,000
味覚誘発情動の神経回路基盤の解明と心の科学への展開	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	杉田 誠	900,000
Galectin-3 を標的とした菌性感染誘導性早期低体重児出産の診断予防法の開発	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	高田 隆	1,300,000
牡蠣殻ナノ粒子とエナメル蛋白を用いたバイオミネラリゼーションによるエナメル質修復	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	谷本 幸太郎	1,500,000
乳酸菌由来因子による歯周およびインプラント周囲炎症コントロール	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	二川 浩樹	600,000
ヒト型肝臓動物モデルを利用したデザインードラッグのメタボローム解析と体内動態予測	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	太田 茂	1,400,000
DNA 損傷による遠隔作用差異：新規な遺伝子変異誘発機構の解明	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	紙谷 浩之	1,100,000
薬物の肺挙動・肺毒性研究のための肺上皮 I 型細胞モデルの開発	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	高野 幹久	900,000
腫瘍特異的エクソソームをダイレクトに検出するシステムの開発	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	田原 栄俊	1,500,000
創薬研究を指向したバクテリア 2 成分情報伝達系に関する動的定量解析手法の樹立	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	木下 英司	1,000,000
ロトノンによる細胞外グルタミン酸濃度上昇に対する細胞応答とその破綻による細胞死	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	古武 弥一郎	1,400,000
人工スクレアーゼを用いた早老症 iPS 細胞の遺伝子修正と治療への応用	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	嶋本 顕	1,400,000
睡眠・覚醒リズムと身体機能・能力の関係を解明し高齢者を健康的な日常生活へと導く研究	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	新小田 幸一	900,000
筋血流量を用いた運動イメージの可視化と Biofeedback による運動機能の改善	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	松川 寛二	1,800,000
看護基礎教育レベルの放射線看護教育方法の検討	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	宮腰 由紀子	900,000
過疎高齢化が進む地域での住民参加型ポピュレーション・ヘルス・マネジメントの展開	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	森山 美知子	1,000,000
ニューロサイエンスに立脚した対麻痺歩行支援ロボットの開発	医歯薬保健学研究院 (保)	教授	弓削 類	1,000,000
乳児のシグナルに喚起される感情モデルに基づく体験型親準備教育プログラム構築の試み	医歯薬保健学研究院 (保)	講師	竹中 和子	200,000
Bach1 により制御される関節軟骨保護機構の解明と ZFP による新規治療法の開発	病院 (医)	講師	味八木 茂	1,100,000
慢性皮膚粘膜カンジダ症の疾患モデルマウスの作成と治療法の確立	病院 (医)	助教	岡田 賢	1,300,000
肺気腫発生・進展の新規メカニズムの解明：その発症・重症化の予防と新規治療薬の開発	原爆放射線医学研究所	教授	岡田 守人	1,400,000
放射線被ばく尿中バイオマーカーによる線量評価法の開発	原爆放射線医学研究所	教授	神谷 研二	1,600,000
Geminin による心筋細胞を維持する分子機構の解析	原爆放射線医学研究所	教授	瀧原 義宏	900,000
ゲノム損傷部位輸送機構の解明	原爆放射線医学研究所	教授	田代 聡	1,500,000
iPS 細胞バンクを利用した緊急被ばく対応システムの構築	原爆放射線医学研究所	教授	東 幸仁	900,000
酸化的リン酸化経路活性化による発がん機構の解析	原爆放射線医学研究所	教授	本田 浩章	1,500,000
革新的両方向性遺伝学的アプローチによる重度小頭症の病態解明	原爆放射線医学研究所	教授	松浦 伸也	900,000
ヒ素感受性関連遺伝子群の探索と毒性発現・生体防御機構の解明	原爆放射線医学研究所	准教授	信國 好俊	800,000
1 細胞広範シーケンス技術に基づく、放射線の突然変異誘発率の計測	原爆放射線医学研究所	助教	金井 昭教	2,000,000
地理情報システムを用いた広島原爆入市被曝者の健康影響評価	原爆放射線医学研究所	助教	佐藤 裕哉	500,000
細胞周期特異的局在性を利用した卵子特異的リプログラミング因子の網羅的探索	自然科学研究支援開発センター	教授	外丸 祐介	1,100,000
若年期の放射線、化学療法によるゲノム障害、二次がんリスクと遺伝的影響に関する検討	自然科学研究支援開発センター	教授	楡山 英三	2,800,000

平成26年度文部科学省科学研究費(一部基金分)採択一覧

(注) 所属欄の(医)は医学分野、(歯)は歯学分野、(薬)は薬学分野、(保)は保健学分野を示す。

基盤研究 (B)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
プロリン異性化酵素 Pin1、PAR14 と含有複合体による代謝調節と治療への展開	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	浅野 知一郎	6,800,000
人工スクレアーゼによる食細胞異常症由来ヒト iPS 細胞の遺伝子修復に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	小林 正夫	4,800,000
難治性神経疾患の治療に資する膜輸送・リソソーム分解調節薬物の検索と開発	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	酒井 規雄	3,800,000
微小重力培養した骨髄間葉系幹細胞による胸部大動脈瘤術後対麻痺の再生治療	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	末田 泰二郎	8,300,000
治療耐性・癌幹細胞克服に向けた消化管癌の新規診断・治療標的の包括的同定と展開	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	安井 弥	4,200,000
情動制御の脳内機構とその障害の修復機序に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	山脇 成人	3,400,000
オプチニューリン変異マウスによる筋萎縮性側索硬化症の病態解明・治療法の開発	医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	丸山 博文	5,500,000
口腔癌幹細胞ニッチにおけるサイトカインネットワークの解明とその診断・治療への応用	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	岡本 哲治	4,000,000
生体類似組織構築のための人工細胞外マトリックスの創製	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	加藤 功一	2,700,000
骨髄間葉系幹細胞からセメント芽細胞への分化誘導と象牙質面へのセメント質形成誘導	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	栗原 英見	3,300,000
硬組織を連結する組織構築の形成メカニズム	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	宿南 知佐	5,600,000
リソソーム化ラクトフェリンを用いた口腔癌の増殖ならびに骨浸潤の制御	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	高田 隆	3,200,000
WHO 国際分類改訂に向けたアジアにおける歯原性腫瘍の戦略的大規模調査	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	高田 隆	3,400,000
水素量低減 DLC を応用したインプラント周囲骨リモデリングの制御	医歯薬保健学研究院 (歯)	教授	二川 浩樹	3,000,000
細胞増殖・分化を制御する化学規定化培養基板の開発	医歯薬保健学研究院 (歯)	助教	平田 伊佐雄	1,400,000
3次元培養を用いた化学物質による薬物代謝酵素の分解に伴う毒性変動評価	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	太田 茂	4,900,000
遺伝子治療実用化を加速する効率的・持続的遺伝子発現システムの創製	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	紙谷 浩之	3,000,000
薬剤性肺線維症の分子機構解明とその予測法・防御法の開発	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	高野 幹久	3,300,000
老化関連マイクロ RNA 標的遺伝子の機能解析とがん治療への応用	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	田原 栄俊	4,600,000
テロメア遺伝子年齢を加齢個体差の客観的指標として用いたネオ・ジェロントロジー研究	医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	田原 栄俊	4,200,000
網羅的リン酸化タンパク質解析のための3次元電気泳動イメージング技術の構築	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	木下 英司	3,500,000
熱帯地域特異的神経変性疾患の現地調査と病因に基づく新規モデル動物作製	医歯薬保健学研究院 (薬)	准教授	古武 弥一郎	4,200,000
NICU における痛みのケア向上のための実際的な教育プログラムの開発	医歯薬保健学研究院 (保)	名誉教授	横尾 京子	1,700,000
遺伝子不安定性の異なるサブクラス分類に有用な新規マウス大腸癌疾患モデルの確立	病院 (医)	講師	檜井 孝夫	3,700,000
運動器損傷に対する血管新生および組織特異的マイクロ RNA による新規治療開発	病院 (医)	助教	亀井 直輔	4,100,000
E-カドヘリンのプロセッシング抑制による口腔癌の浸潤・転移阻止療法に関する研究	病院 (歯)	講師	林堂 安貴	3,900,000
口腔癌の EMT を介した局所浸潤機構の解明	病院 (歯)	講師	東川 晃一郎	2,700,000
急性および晩発性放射線障害に対する包括的細胞治療法の開発	原爆放射線医学研究所	教授	一戸 辰夫	5,500,000
肺胞上皮癌における浸潤性肺腺癌への悪性化進展メカニズムの解明	原爆放射線医学研究所	教授	岡田 守人	4,400,000
低線量・低線量率放射線発がん高感受性モデルマウスの開発と発がんリスク評価	原爆放射線医学研究所	教授	神谷 研二	4,100,000
ヒストン H3K27 メチル化脱制御による骨髄異形成症候群発症機構の解析	原爆放射線医学研究所	教授	本田 浩章	4,800,000
放射線感受性の個人差を規定する遺伝子の探索と同定	原爆放射線医学研究所	教授	松浦 伸也	3,400,000

若手研究 (A)

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
新生児疼痛管理の実践を牽引するリーダー育成のための教育プログラムの開発	医歯薬保健学研究院 (保)	講師	小澤 未緒	2,100,000
変形性関節症における新規関節内コミュニケーション因子としての分泌マイクロ RNA	病院 (医)	講師	味八木 茂	4,400,000
慢性皮膚粘膜カンジダ症の新規責任遺伝子の同定と STAT1 異常に伴う分子病態の解析	病院 (医)	助教	岡田 賢	1,500,000
放射線による染色体断片化を防ぐ DNA tether 構造の動態と分子構築	原爆放射線医学研究所	講師	宮本 達雄	6,400,000

平成26年度文部科学省科学研究費(奨励費分)採択一覧

(注) 所属欄の(医)は医学分野、(歯)は歯学分野、(薬)は薬学分野、(保)は保健学分野を示す。

特別研究員奨励費

研究課題名	所属	職名	研究代表者名	配分額(円) (直接経費)
小胞体ストレス応答による生理機能制御	医歯薬保健学研究院(医)	ポスドク	浅田 梨絵	1,200,000
うつ病の再発をもたらす脆弱性の改善を目的とした認知神経科学的介入技法の開発	医歯薬保健学研究院(医)	ポスドク	山本 哲也	1,300,000
セントラルコマンドによる骨格筋血流量調節-中枢神経から骨格筋血管まで	医歯薬保健学研究院(保)	ポスドク	石井 圭	1,000,000
変形性関節症における Exosome の役割と治療応用	病院(医)	ポスドク	石飛 博之	1,400,000
Ameloblastin の痛抑制遺伝子としての働き	医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻	博士課程4年	安藤 俊範	900,000
シナプス、セロトニン異常と自閉症様行動との関連解析	医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻 医学専門プログラム	博士課程3年	福本 景太	900,000
新規パーキンソン病モデル細胞の作製と発症メカニズム解明への応用	医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻 薬学専門プログラム	博士課程3年	宮良 政嗣	1,000,000
アストロサイトを標的とした抗うつ薬の新規薬理作用に関する研究	医歯薬保健学研究科 薬学専攻	博士課程後期3年	梶谷 直人	900,000
光学活性シロキシアレンの合成法の開発と合成反応への展開	医歯薬保健学研究科 薬学専攻	博士課程後期3年	近藤 泰博	900,000
低濃度環境化学物質による新規神経毒性メカニズムの解明と in vivo 神経毒性評価	医歯薬保健学研究科 薬学専攻	博士課程後期1年	石田 慶士	1,000,000

平成26年度厚生労働省科学研究費補助金採択一覧

(注) 所属欄の(医)は医学分野、(歯)は歯学分野、(薬)は薬学分野、(保)は保健学分野を示す。

行政政策研究分野

事業名	研究課題名	所属	職名	研究者名	代表・分担	配分額(円) (直接経費)	備考
厚生労働科学特別研究事業	原子力災害時における医療機関等の事業継続や避難に関する研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	谷川 攻一	代表	6,500,000	学外分担者 4,000,000分も含む
		医歯薬保健学研究院(医)	准教授	廣橋 伸之	分担	800,000	
		病院(医)	講師	岩崎 泰昌	分担	800,000	

厚生科学基盤研究分野

事業名	研究課題名	所属	職名	研究者名	代表・分担	配分額(円) (直接経費)	備考
再生医療実用化研究事業	関節鏡視下自己骨髄間葉系幹細胞移植による関節軟骨欠損修復-多施設共同、非盲検、ランダム化、並行比較試験	医歯薬保健学研究院(医)	教授	越智 光夫	分担	3,500,000	

疾病・障害対策研究分野

事業名	研究課題名	所属	職名	研究者名	代表・分担	配分額(円) (直接経費)	備考
がん政策研究事業	小児がん拠点病院を軸とした小児がん医療提供体制のあり方	自然科学研究支援開発センター	教授	檜山 英三	分担	200,000	
がん対策推進総合研究事業(がん政策研究事業)	がん対策推進基本計画の効果検証と目標設定に関する研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	田中 純子	分担	2,000,000	
	がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の運用と他がん登録との連携	医歯薬保健学研究院(医)	助教	権丈 雅浩	分担	200,000	
	がん患者が抱える精神的・社会的問題に関して、その原因や関連要因になり得る社会的要因に着目し、その是正を目指した研究	医歯薬保健学研究院(保)	教授	岡村 仁	分担	300,000	
がん対策推進総合研究事業(革新的がん医療実用化研究事業)	難治性神経芽腫に対するIL2,CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	医歯薬保健学研究院(医)	教授	小林 正夫	分担	300,000	
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業)	日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究(JDCS)	病院(医)	助教	米田 真康	分担	300,000	
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	びまん性肺疾患に関する調査研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	河野 修典	分担	500,000	
	原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	小林 正夫	分担	1,000,000	
	先天性骨髄不全症の登録システムの構築と診断ガイドラインの作成に関する研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	小林 正夫	分担	1,000,000	
	難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	田中 純子	分担	700,000	
	早老症の実態把握と予後改善を目指す集学的研究	医歯薬保健学研究院(薬)	准教授	嶋本 顕	分担	300,000	
	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	病院(医)	教授	田妻 進	分担	1,000,000	
	遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成に関する研究	病院(医)	助教	中野 由紀子	分担	700,000	
	国際標準に立脚した奇形症候群領域の診療指針に関する学際的・網羅的検討	原爆放射線医科学研究所	教授	松浦 伸也	分担	1,000,000	
難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業・免疫アレルギー疾患実用化研究分野))	生命予後に関わる重篤な食物アレルギーの実態調査・新規治療法の開発および治療指針の策定	医歯薬保健学研究院(医)	教授	秀 道広	分担	550,000	
	アレルギー疾患の全年齢にわたる継続的疫学調査体制の確立とそれによるアレルギーマーチの発症・悪化要因のコホート分析に関する研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	秀 道広	分担	1,100,000	
	アトピー性皮膚炎発症機序の解明と皮膚バリアケアによる予防法の開発に関する研究	医歯薬保健学研究院(歯)	教授	菅井 基行	分担	2,000,000	
	生命予後に関わる重篤な食物アレルギーの実態調査・新規治療法の開発および治療指針の策定	医歯薬保健学研究院(薬)	教授	松尾 裕彰	分担	500,000	
難治性疾患等実用化研究事業(難治性疾患実用化研究事業)	リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験	医歯薬保健学研究院(医)	准教授	服部 登	分担	1,000,000	
	ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究-試薬からの希少疾病治療薬開発の試み-	医歯薬保健学研究院(医)	助教	但馬 剛	分担	500,000	
	ミトコンドリア脳筋症 MELAS の脳卒中様発作に対するタウリン療法の開発	病院(医)	講師	高橋 哲也	分担	1,000,000	
認知症対策総合研究事業	BPSDの症状評価法および治療法の開発と脳内基盤解明を目指した総合的研究	医歯薬保健学研究院(医)	教授	鳥帽子田 彰	分担	800,000	
障害者対策総合研究事業(障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野))	臨床評価指標を踏まえた睡眠障害の治療ガイドライン作成および難治性の睡眠障害の治療法開発に関する研究	病院(医)	講師	山下 英尚	分担	800,000	
障害者対策総合研究事業(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))	認知行動療法等の精神療法の科学的エビデンスに基づいた標準治療の開発と普及に関する研究	医歯薬保健学研究院(医)	准教授	岡本 泰昌	分担	1,000,000	
	BPSDにより精神科病院に入院する認知症患者を対象とした全国規模での入院実態調査	医歯薬保健学研究院(保)	教授	岡村 仁	代表	14,000,000	

平成26年度厚生労働省科学研究費補助金採択一覧

疾病・障害対策研究分野

事業名	研究課題名	所属	職名	研究者名	代表・分担	配分額(円) (直接経費)	備考
エイズ対策研究事業(エイズ対策政策研究事業)	血液凝固因子製剤による HIV 感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	田中 純子	分担	1,000,000	
	HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究	病院 (医)	准教授	藤井 輝久	分担	6,000,000	
肝炎等克服緊急対策研究事業	B 型肝炎の核酸アナログ薬治療における drug free を目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究	自然科学研究支援開発センター	助教	柘植 雅貴	分担	2,000,000	
	B 型肝炎ウイルス e 抗体陽性無症候キャリアの長期予後に関する検討	自然科学研究支援開発センター	助教	柘植 雅貴	分担	1,000,000	
B 型肝炎創薬実用化等研究事業	B 型肝炎の新規治療薬を開発するための宿主の自然免疫系の解析に関する研究	自然科学研究支援開発センター	助教	柘植 雅貴	分担	16,000,000	
肝炎等克服政策研究事業	急性感染も含めた肝炎ウイルス感染状況・長期経過と治療導入対策に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	田中 純子	代表	33,400,000	学外分担者 11,500,000 分も含む
	小児における B 型肝炎の水平感染の実態把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	田中 純子	分担	100,000	
	肝炎に関する全国規模のデータベースを用いた肝炎治療の評価及び肝炎医療の水準の向上に資する研究	病院 (医)	講師	川上 由育	分担	2,000,000	
肝炎等克服実用化研究事業 (肝炎等克服緊急対策研究事業)	多機能幹細胞を用いた自然免疫再構築による肝炎治療法の開発と臨床応用	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	大段 秀樹	代表	29,500,000	学外分担者 7,000,000 分も含む
		医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	田原 栄俊	分担	1,000,000	
		医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	田中 友加	分担	2,000,000	
	科学的根拠に基づくウイルス性肝炎診療ガイドラインの構築に関する研究	病院 (医)	講師	川上 由育	分担	2,000,000	
	次世代シーケンス技術を駆使したウイルスゲノム解析による C 型肝炎の病態解明と臨床応用	病院 (医)	助教	今村 道雄	分担	2,000,000	
肝炎等克服実用化研究事業 (B 型肝炎創薬実用化等研究事業)	革新的な動物モデルや培養技術の開発を通じた HBV 排除への創薬研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	茶山 一彰	代表	169,000,000	他学部学内分担者 7,000,000 学外分担者 36,500,000 分も含む
		医歯薬保健学研究院 (医)	教授	坂口 剛正	分担	7,000,000	
		医歯薬保健学研究院 (薬)	教授	田原 栄俊	分担	7,000,000	
		医歯薬保健学研究院 (医)	准教授	阿部 弘美	分担	7,000,000	
	HBV cccDNA の制御と排除を目指す新規免疫治療薬の開発	病院 (医)	助教	今村 道雄	分担	3,500,000	

健康安全確保総合研究分野

事業名	研究課題名	所属	職名	研究者名	代表・分担	配分額(円) (直接経費)	備考
地域医療基盤開発推進研究事業	救急医療体制の推進に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	谷川 攻一	分担	130,000	
	被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	講師	服部 文子	分担	300,000	
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)	献血推進のための効果的な広報戦略等の開発に関する研究	医歯薬保健学研究院 (医)	教授	田中 純子	分担	1,750,000	

平成26年度受託研究受入・民間等との共同研究実績状況・
奨学寄附金受入状況・寄贈図書一覧

○平成26年度受託研究受入・民間等との共同研究実績状況

外部資金の名称	受入状況	
	件数	受入金額(千円)
受託研究	49件	478,018
共同研究	39件	71,313
計	88件	549,331

医歯薬保健学研究院、原爆放射線医科学研究所、病院の平成26年4月1日から平成26年9月30日までの受入状況を示す。
(千円未満四捨五入)

○平成26年度奨学寄附金受入状況

受入状況	
件数	受入金額(千円)
526件	425,542

医歯薬保健学研究院、原爆放射線医科学研究所、病院の平成26年4月1日から平成26年9月30日までの受入状況を示す。
(千円未満四捨五入)

○寄贈図書一覧

寄贈者		書名	著者	出版社・発行年月
所属	氏名			
医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 医学分野 消化器・代謝内科学	茶山 一彰	ホテルシェフと大病院の管理栄養士 が考えたおいしい!塩分ひかえめ「マ イしおレシピ」	檜垣 實男	株式会社PHP研究所 2013年12月
医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 医学分野 消化器・代謝内科学	茶山 一彰	済生丸50年誌:海をわたる診療船「済 生丸」半世紀の歩み	岡山・広島・香 川・愛媛県済生 会	恩賜財団済生会支部 岡山・広島・香川・ 愛媛県済生会 2014年1月
医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 医学分野 消化器・代謝内科学	茶山 一彰	組織変革マネジメントへの招待	松田 陽一	岡山大学出版会 2014年3月
医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 医学分野 消化器・代謝内科学	茶山 一彰	連携による知の創造	広島大学マネジ メント研究セン ター	白桃書房 2014年3月
病院 輸血部	藤井 輝久	よくわかるエイズ関連用語集Ver.7	高田 昇	広島大学病院エイズ 医療対策室 2014年2月

編集後記 / 表紙写真説明

編集後記

世界で異常気象が問題視される中、この夏、西日本には「平成26年8月豪雨」と称される記録的な多雨・日照不足が続き、広島市では8月20日に発生した広島市大規模土砂災害により74名の方が犠牲となり、多くの方が被災されました。さらに、9月27日には御嶽山の噴火により戦後最悪の火山被害となりました。亡くなられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、ご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年 は 天候のみならず、感染症も猛威をふるい、西アフリカではエボラ出血熱のoutbreakが未だ終焉せず死亡者は5,000例を超え、諸外国での二次感染者も発生し、日本にもいつ感染者が入国するかわからない状況にあります。

異常気象や天災・感染症に脅威を覚える傍ら、広島大学大学院医歯薬保健学研究科は、2012年4月の統合から3年目を迎えました。広島大学は、本誌巻頭のご挨拶で安井弥研究院長が述べられておられますように「スーパーグローバル大学」として10年後の世界ランキングトップ100入りをめざしており、当研究科の構成員は、診療・研究・教育の各部門でさらなる成果を生みだして当大学の目標の達成に貢献していくと期待されています。

第6号の刊行を迎える本広報誌BHS NEWSは、当研究科の構成員の活躍を記録し、最新の情報を発信することを責務として霞キャンパスの愛読誌となるよう努めて編集されています。

2015年が構成員の皆さまにとってますますご活躍される一年となりますよう祈念します。

2014年12月 広報委員 片山恵子

表紙写真説明

霞キャンパスの樹木（晩秋）

霞キャンパスには実に多くの種類の樹木が植えられ、四季折々に私たちを楽しませてくれます。

学内移動中にこれら樹木の変化に注目してみてください。きっと新しい発見があると思います。

（右：花水木（ハナミズキ）の実（保健学科前、10月下旬撮影）、左：金木犀（キンモクセイ）の花（広仁会館横、10月下旬撮影）

（写真・文 武島 幸男 医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 医学分野 病理学 教授）



2014年(平成26年)12月発行

編集発行 広島大学大学院医歯薬保健学研究院・医歯薬保健学研究科広報委員会

住所 〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号

電話 (082)257-5807(総務グループ)

FAX (082)257-5615

E-mail kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

URL <http://www.hiroshima-u.ac.jp/bimes>

印刷 株式会社ニシキプリント

研究院長・研究科長 安井 弥

□広報委員会委員(○委員長)

- 坂口 剛正(医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 教授(医学分野))
- 酒井 規雄(医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 教授(医学分野))
- 杉田 誠(医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 教授(歯学分野))
- 松浪 勝義(医歯薬保健学研究院 基礎生命科学部門 教授(薬学分野))
- 花岡 秀明(医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 教授(保健学分野))
- 松原 昭郎(医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 教授(医学分野))
- 竹本 俊伸(医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 教授(歯学分野))
- 大瀧 慈(原爆放射線医科学研究所 放射線影響評価研究部門 教授)
- 岡本 泰昌(医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 准教授(医学分野))
- 吉川 峰加(医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 准教授(歯学分野))
- 的場 康幸(医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 准教授(薬学分野))
- 片山 恵子(医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 講師(医学分野))
- 高橋 真(医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 講師(保健学分野))
- 藤本紗央里(医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 講師(保健学分野))